

半田市民の公共交通利用実態および意識に関するアンケート調査

【集計結果】

1 調査概要

(1) 調査目的

- ・本調査は、半田市地域公共交通網形成計画策定のため、市民の公共交通（鉄道・バス・タクシー）の利用状況や意識を把握することを目的に実施しました。

(2) 調査対象

- ・12歳以上の市民3,114人（住民基本台帳より無作為抽出）

(3) 調査方法

- ・郵送配布・郵送回収

(4) 調査期間

- ・平成28年12月 5日（月）～平成28年12月19日（金）
- ・平成29年 1月19日（木）～平成29年 2月 3日（金）（※さくら小学校区追加発送）

(5) 調査内容

- ・調査票は別紙参照

項 目	調査内容
属性	・性別／年齢／職業／家族人数／家族構成／居住地
普段の外出について	・目的別の行き先、頻度、主な交通手段、出発・帰宅時刻、移動の満足度、公共交通等による到達可能性 ・自動車運転免許の保有状況 ・自家用車の利用状況
市内の公共交通について	・「知多バス」の認知度 ・「知多バス」の利用状況・利用意向 ・タクシーの利用状況 ・最寄り駅と自宅間の移動手段に対する支払意志額
市の交通政策のあり方について	・「知多バス」に対する財政負担額 ・公共交通に対する今後の取り組みの方向性
その他	・市内の公共交通に関する自由意見

(6) 回収状況

①全体

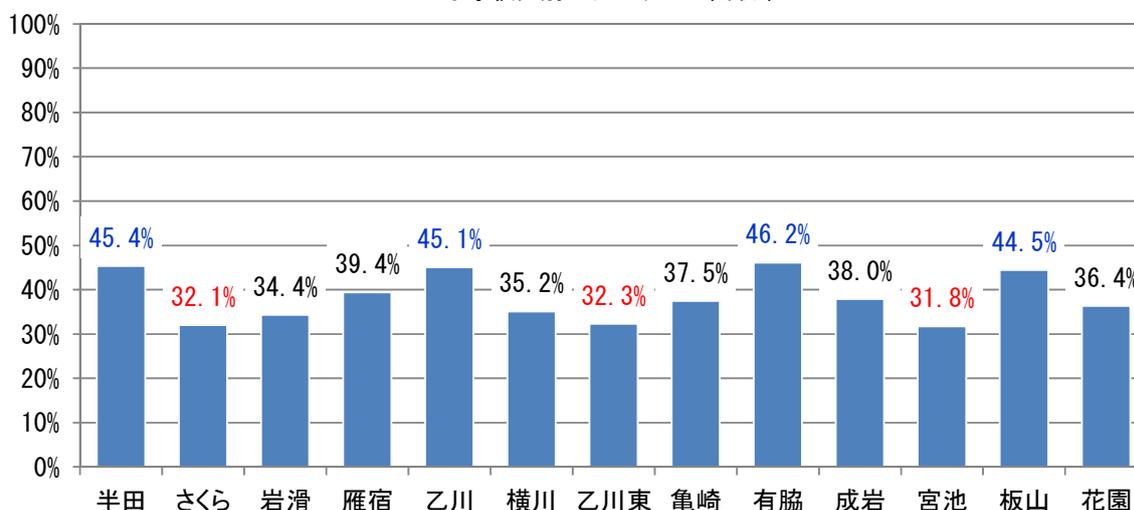
- ・全体では、3,114票配布、1,223票回収し、回収率は約39%でした。

配布数	回収数	有効回答数	回収率
3,114票	1,225票	1,223票	39.3%

②小学校区別（※小学校区「不明」の50票は除く）

- ・小学校区別では、最も回収率が高かった小学校区は「有脇」で約46%でした。
- ・逆に、回収率が低かった小学校区は「宮池」「さくら」「乙川東」となっていました。

小学校区別のアンケート回収率



小学校区	人口 (人)	配布数 (票)	回収数 (票)	回収率 (%)	対人口 回答率 (%)
①半田	9,995	227	103	45.4	1.0
②さくら	6,253	212	68	32.1	1.1
③岩滑	7,877	189	65	34.4	0.8
④雁宿	6,297	180	71	39.4	1.1
⑤乙川	10,721	266	120	45.1	1.1
⑥横川	11,056	273	96	35.2	0.9
⑦乙川東	8,727	201	65	32.3	0.7
⑧亀崎	10,781	264	99	37.5	0.9
⑨有脇	2,504	130	60	46.2	2.4
⑩成岩	8,300	187	71	38.0	0.9
⑪宮池	13,732	412	131	31.8	1.0
⑫板山	6,874	191	85	44.5	1.2
⑬花園	15,706	382	139	36.4	0.9
不明	-	-	50	-	-

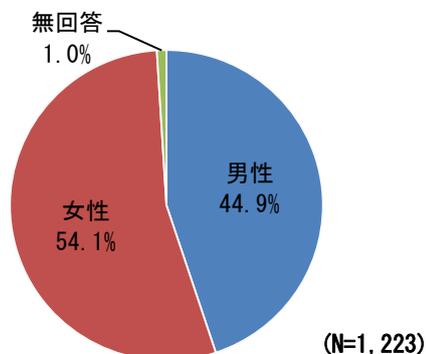
2 調査結果 (※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある)

(1) 属性

【問12】性別 (単一回答)

・回答者は「女性」が約54%と、男性より多くなっていました。

選択肢	回答数	割合
1 男性	549	44.9%
2 女性	662	54.1%
無回答	12	1.0%
合計	1,223	100.0%

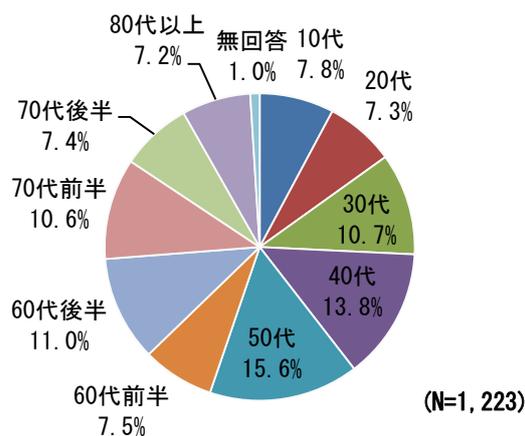


【問13】年齢 (単一回答)

・各年代とも10%前後の回答が得られました。

全体

選択肢	回答数	割合
1 10代	95	7.8%
2 20代	89	7.3%
3 30代	131	10.7%
4 40代	169	13.8%
5 50代	191	15.6%
6 60代前半	92	7.5%
7 60代後半	135	11.0%
8 70代前半	130	10.6%
9 70代後半	91	7.4%
10 80代以上	88	7.2%
無回答	12	1.0%
合計	1,223	100.0%



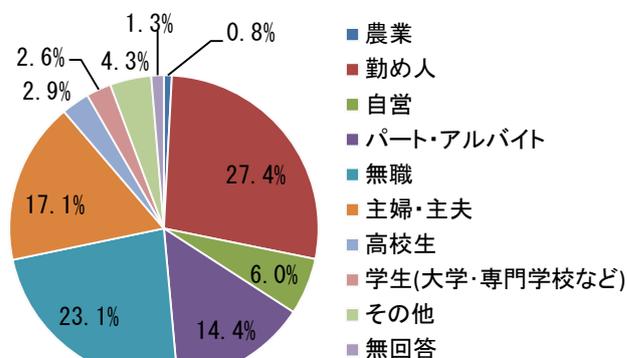
小学校区別



【問14】職業（単一回答）

・回答者は「勤め人」が約27%と最も多い割合を占め、次いで「無職」「主婦・主夫」の順になっていました。「その他」は、主に小学生・中学生でした。

選択肢	回答数	割合
1 農業	10	0.8%
2 勤め人	335	27.4%
3 自営	73	6.0%
4 パート・アルバイト	176	14.4%
5 無職	283	23.1%
6 主婦・主夫	209	17.1%
7 高校生	36	2.9%
8 学生(大学・専門学校など)	32	2.6%
9 その他	53	4.3%
無回答	16	1.3%
合計	1,223	100.0%

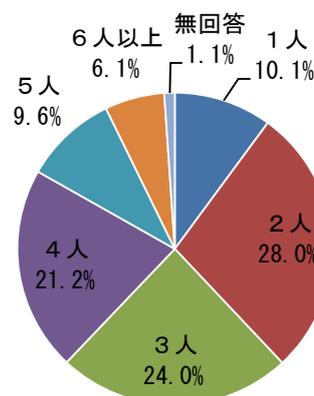


(N=1,223)

【問15】同居家族人数（単一回答）

・回答者の同居家族人数は、「2人暮らし」が約28%で最も多い割合を占めていました。

選択肢	回答数	割合
1 1人	123	10.1%
2 2人	342	28.0%
3 3人	294	24.0%
4 4人	259	21.2%
5 5人	117	9.6%
6 6人以上	75	6.1%
無回答	13	1.1%
合計	1,223	100.0%

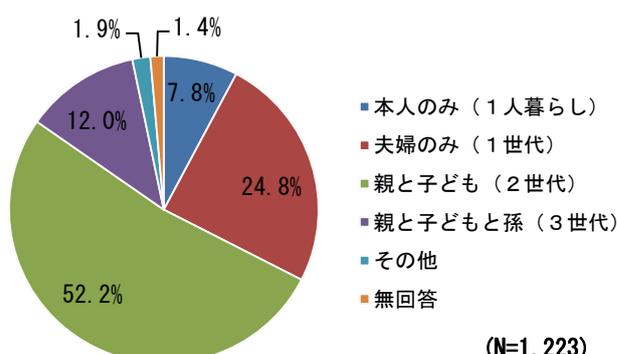


(N=1,223)

【問16】家族構成（単一回答）

・回答者の家族構成は、「親と子ども」の2世代が最も多く、過半数の割合を占めていました。
 ・1人暮らし、夫婦のみの世帯も3割程度存在し、その多くが高齢者世帯と考えられます。

選択肢	回答数	割合
1 本人のみ（1人暮らし）	95	7.8%
2 夫婦のみ（1世代）	303	24.8%
3 親と子ども（2世代）	638	52.2%
4 親と子どもと孫（3世代）	147	12.0%
5 その他	23	1.9%
無回答	17	1.4%
合計	1,223	100.0%

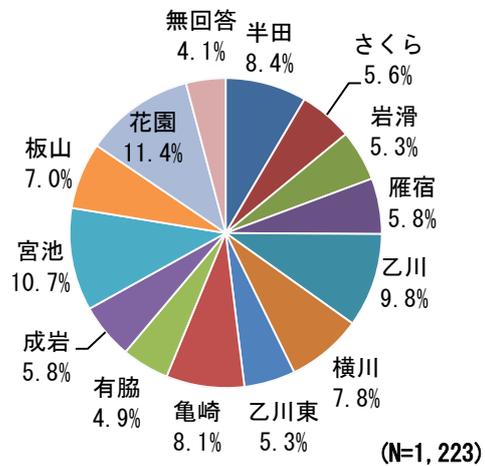


(N=1,223)

【問17】居住地（単一回答）

- 各小学校区とも50以上の有効回答数を得ることができました。

選択肢	回答数	割合
1 半田	103	8.4%
2 さくら	68	5.6%
3 岩滑	65	5.3%
4 雁宿	71	5.8%
5 乙川	120	9.8%
6 横川	96	7.8%
7 乙川東	65	5.3%
8 亀崎	99	8.1%
9 有脇	60	4.9%
10 成岩	71	5.8%
11 宮池	131	10.7%
12 板山	85	7.0%
13 花園	139	11.4%
無回答	50	4.1%
合計	1,223	100.0%



(2) 普段の外出について

【問1-1】 目的別の行き先（複数回答を含む）

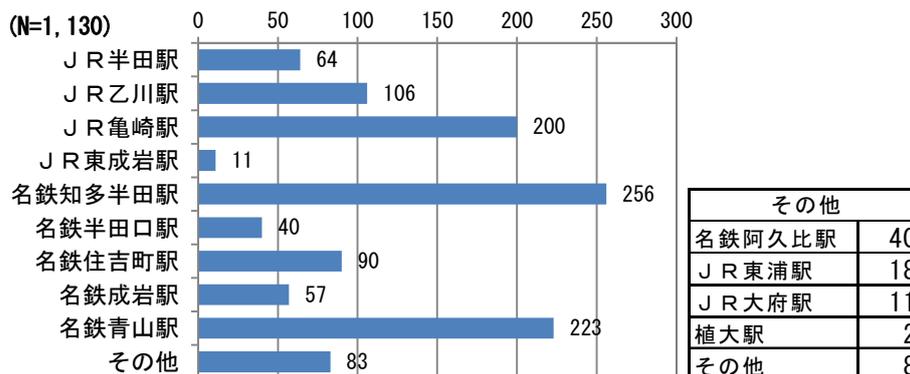
① 駅

- 全体では、「名鉄知多半田駅」の回答が最も多く、次いで「名鉄青山駅」「JR亀崎駅」の順になっていました。市外では「名鉄阿久比駅」が比較的多くなっていました。
- 小学校別では、各駅で利用の割合が高い地区は以下のとおりでした。

駅名	利用の割合が高い小学校区
JR半田駅	さくら (35%)
JR乙川駅	乙川 (65%)
JR亀崎駅	亀崎 (95%)、乙川東 (58%)、横川 (46%)
名鉄知多半田駅	半田 (53%)、さくら (59%)、雁宿 (42%) 成岩 (42%)、宮池 (50%)
名鉄半田口駅	岩滑 (45%)
名鉄住吉町駅	雁宿 (46%)、岩滑 (33%)
名鉄成岩駅	成岩 (35%)、宮池 (26%)
名鉄青山駅	板山 (79%)、花園 (91%)
その他	有脇 (東浦駅、大府駅)、横川 (阿久比駅)

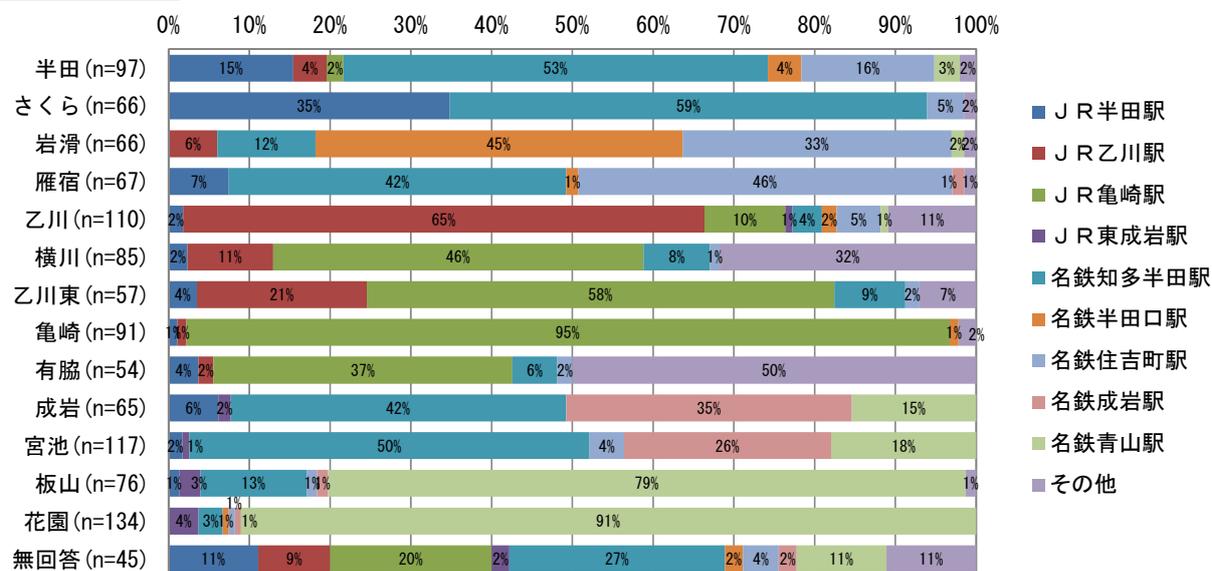
全体

※複数回答を含む



小学校区別

※複数回答を含む

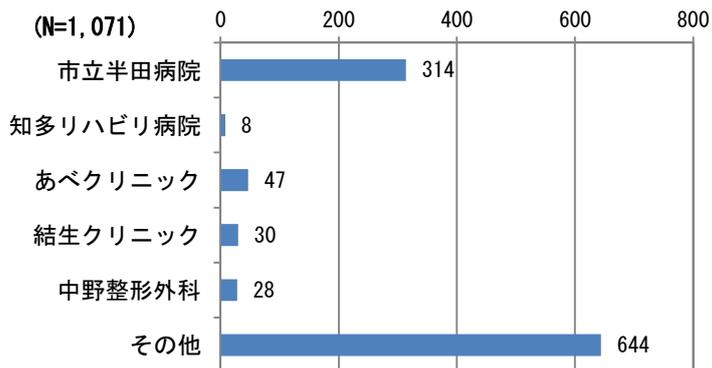


②病院

- 全体では、「市立半田病院」が最も多く、それ以外は個々で通院先が異なっていました。
- 「その他」としては春田内科（青山）が最も多く（42人）なっていました。
- 小学校別では、いずれの地区でも「市立半田病院」の割合は高く、最も高い地区は「さくら」となっていました。

全体

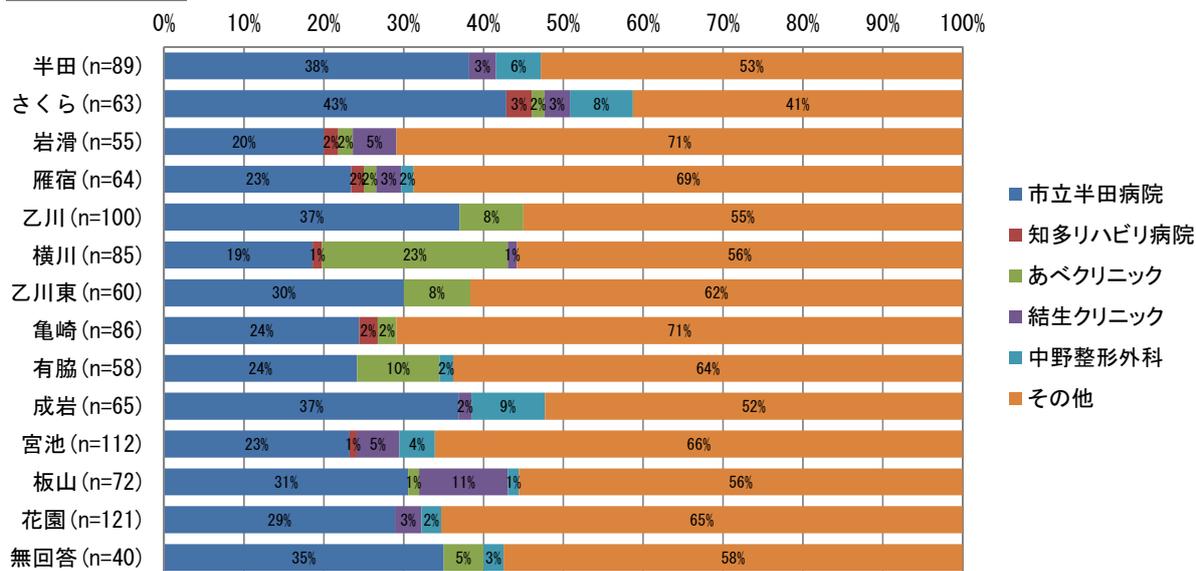
※複数回答を含む



その他	
春田内科	42
乙川さとうクリニック	35
高須内科	24
中町クリニック	21
小出クリニック	21
クリニックパパ	20

小学校区別

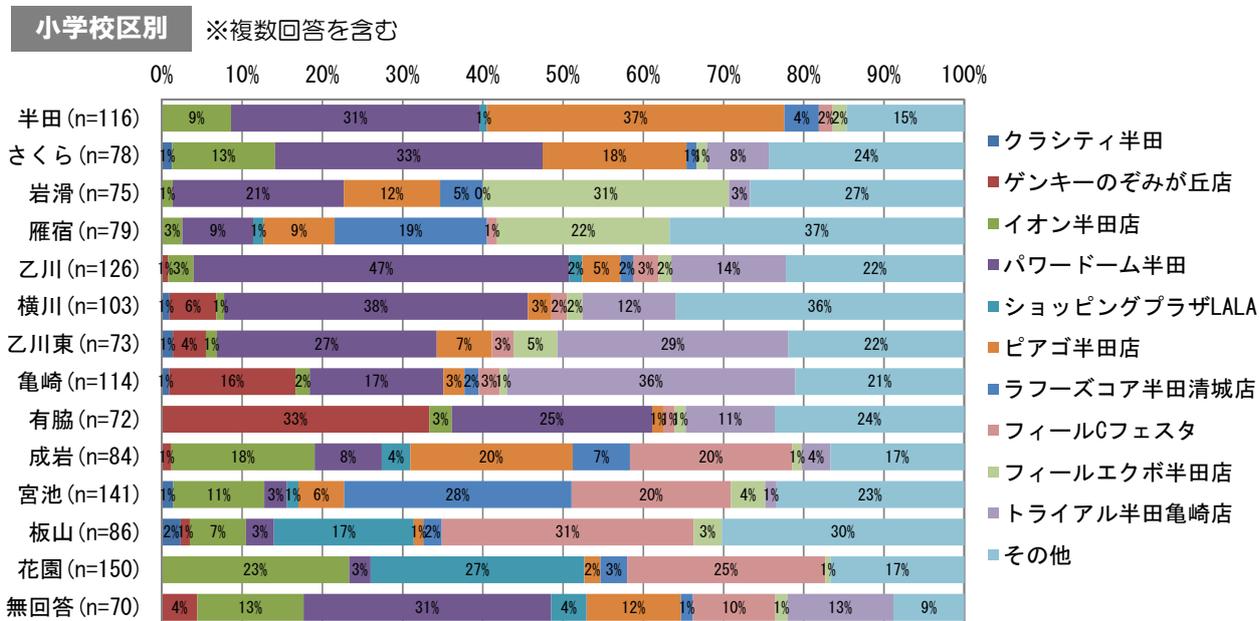
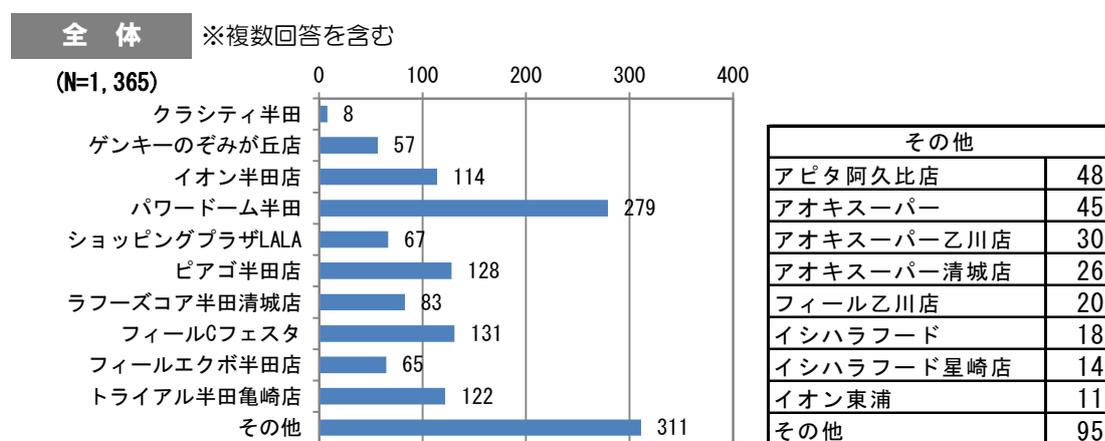
※複数回答を含む



③買い物

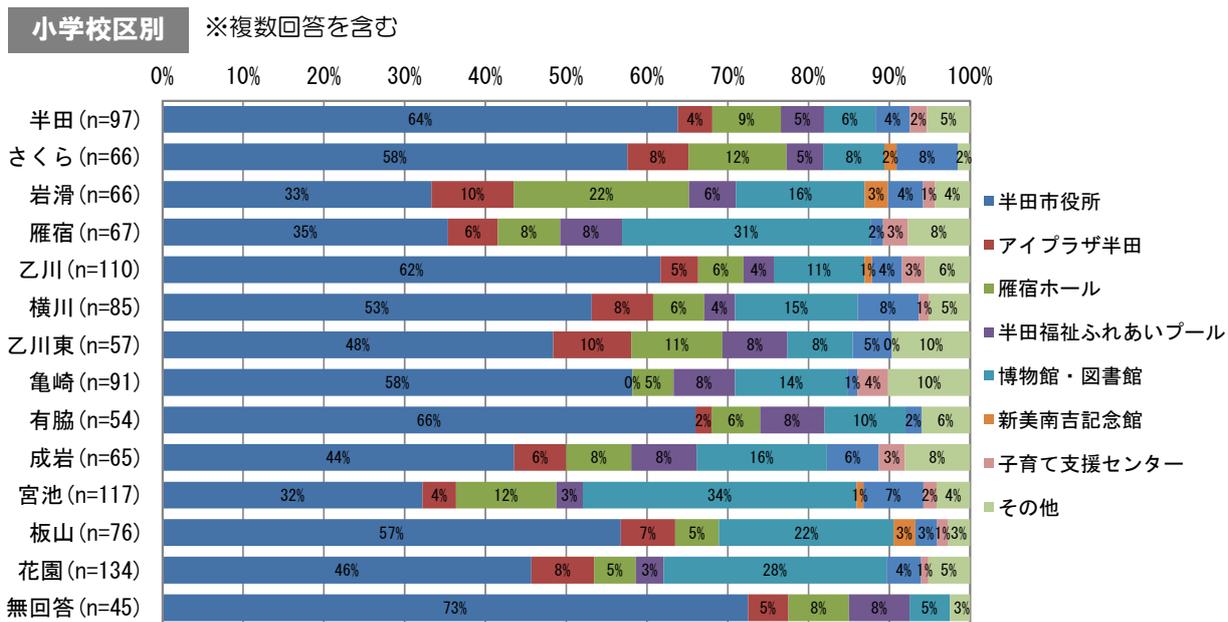
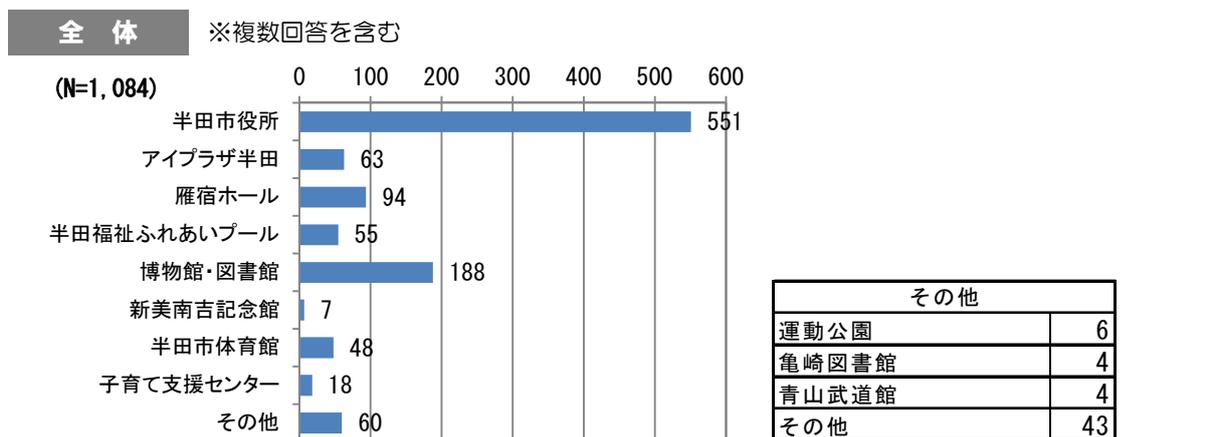
- 全体では、「その他」を除くと「パワードーム半田」が最も多く、次いで「フィールCフェスタ」「ピアゴ半田店」の順になっていました。
- 小学校別では、回答の多い各施設の割合が高い地区は以下のとおりでした。

施設名	回答の割合が高い地区
【1位】パワードーム半田	半田、さくら、乙川、横川
【2位】フィールCフェスタ	板山、花園、成岩
【3位】ピアゴ半田店	半田、成岩、さくら
【4位】トライアル半田亀崎店	亀崎、乙川東



④公的機関

- 全体では、「半田市役所」の最も回答が多く、次いで「博物館・図書館」「雁宿ホール」の順になっていました。
- 小学校別では、多くの地区で「半田市役所」の割合が高くなっていましたが、岩滑、雁宿、宮池地区については比較的低い割合でした。

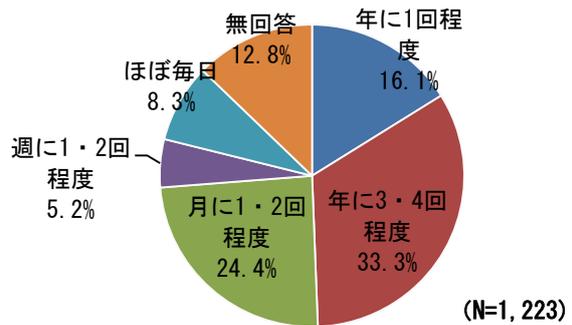


【問1-2】目的別の頻度（単一回答） ※無回答は、その目的で移動しない人も含む

- ・駅は「年に3・4回程度」、病院は「月に1・2回程度」が多い割合を占めていました。
- ・買い物は「週に1・2回程度」が最も高く、「ほぼ毎日」と合わせると6割以上を占めました。
- ・公的機関は、「年に3・4回程度」「年に1回程度」の割合が高くなっていました。
- ・頻度は、「買い物」「病院」「駅」「公的機関」の順で高くなっていました。
- ・（公的機関で無回答の割合が他の目的より高いのは、利用しない人を含むためと考えられる）

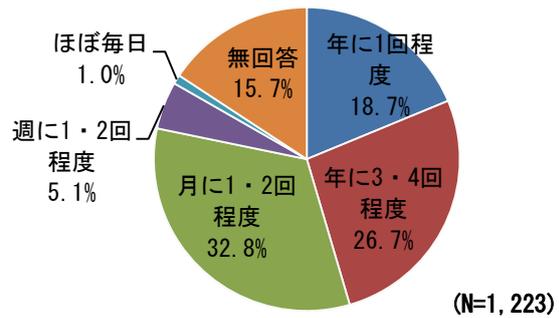
①駅

選択肢	回答数	割合
1 年に1回程度	197	16.1%
2 年に3・4回程度	407	33.3%
3 月に1・2回程度	298	24.4%
4 週に1・2回程度	63	5.2%
5 ほぼ毎日	102	8.3%
無回答	156	12.8%
合計	1,223	87.2%



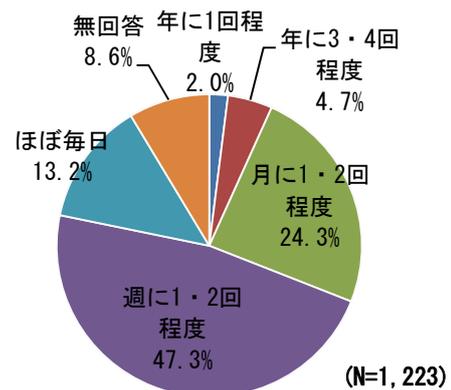
②病院

選択肢	回答数	割合
1 年に1回程度	229	18.7%
2 年に3・4回程度	327	26.7%
3 月に1・2回程度	401	32.8%
4 週に1・2回程度	62	5.1%
5 ほぼ毎日	12	1.0%
無回答	192	15.7%
合計	1,223	84.3%



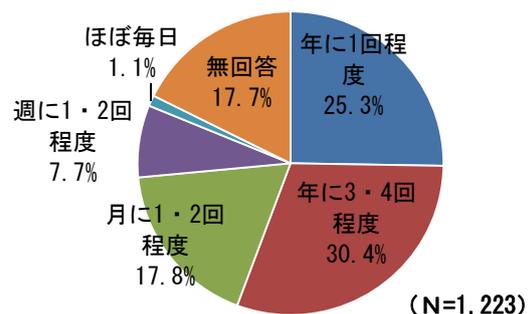
③買い物

選択肢	回答数	割合
1 年に1回程度	24	2.0%
2 年に3・4回程度	58	4.7%
3 月に1・2回程度	297	24.3%
4 週に1・2回程度	578	47.3%
5 ほぼ毎日	161	13.2%
無回答	105	8.6%
合計	1,223	100.0%



④公的機関

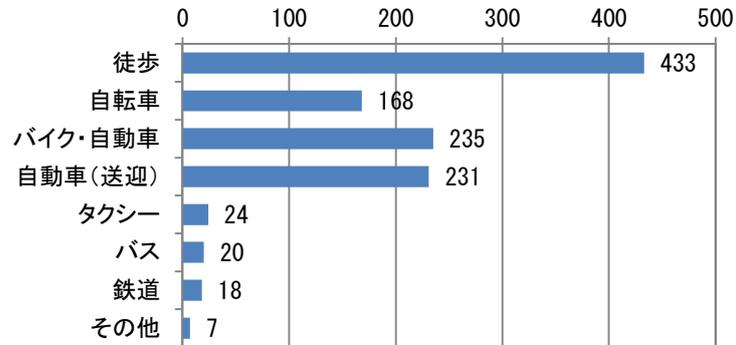
選択肢	回答数	割合
1 年に1回程度	309	25.3%
2 年に3・4回程度	372	30.4%
3 月に1・2回程度	218	17.8%
4 週に1・2回程度	94	7.7%
5 ほぼ毎日	14	1.1%
無回答	216	17.7%
合計	1,223	100.0%



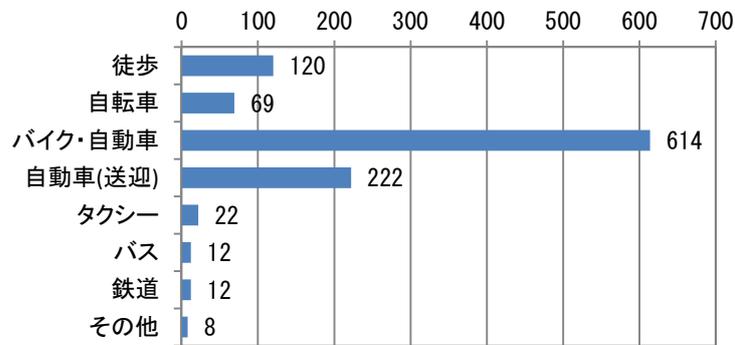
【問1-3】目的別の主な交通手段（複数回答を含む）

・目的別の主な交通手段は、駅のみ「徒歩」が最も多く、それ以外（病院、買い物、公的機関）は、いずれも「バイク・自動車（自分で運転）」が最も多くなっていました。

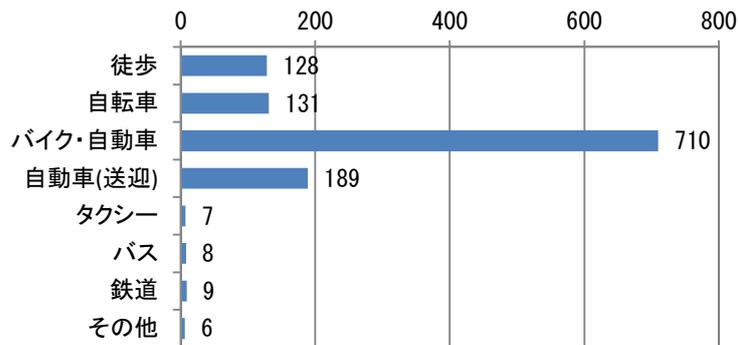
①駅



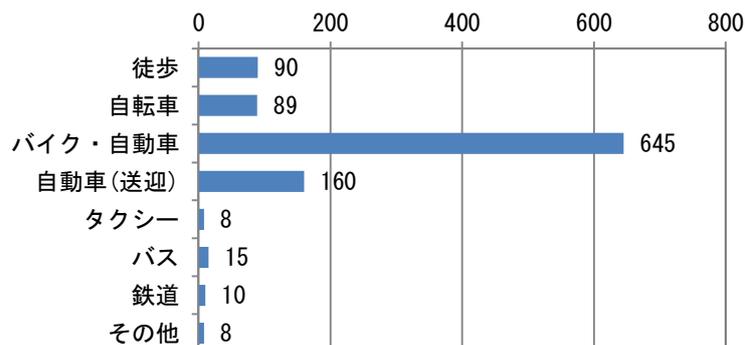
②病院



③買い物



④公的機関

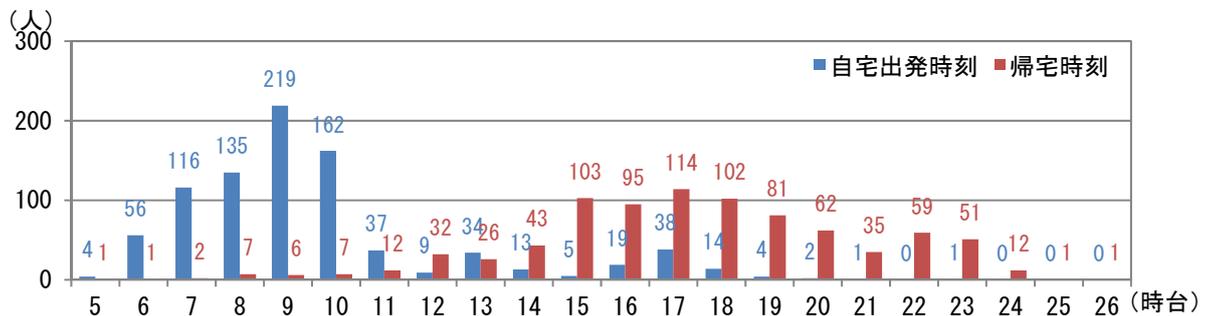


【問1-5】目的別の自宅出発時間・帰宅時間（単一回答）

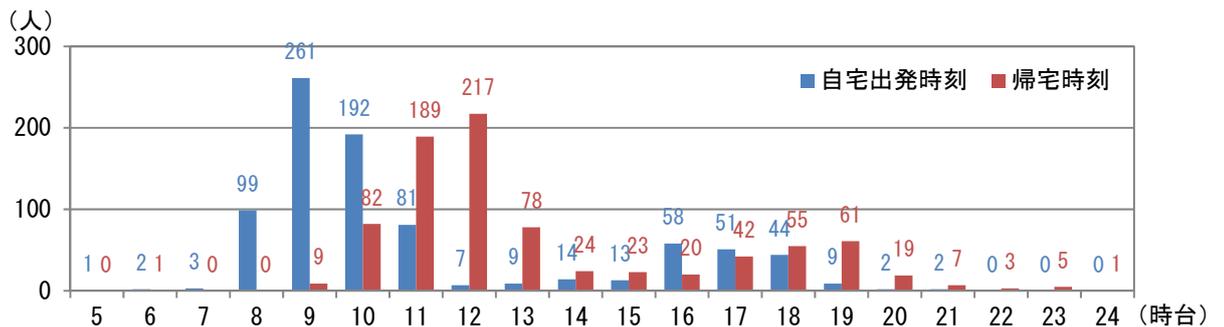
・各目的の自宅出発時間と帰宅時間の特徴は以下のとおりです。

目的	自宅出発時間	帰宅時間
①駅	・9時にピークがあり、6時台～10時台にかけて集中している。	・15時台から23時台にかけて一定数の移動がある。
②病院	・9時台にピークがあり8時台～11時台に集中している。	・ピークが11時台、12時台に集中している。
③買い物	・10時台にピークがあり、午後も一定数の移動がある。	・11、12時台にピークがあるが、午後にかけて一定数の移動がある。
④公的機関	・10時台にピークがある。	・11、12時台にピークがある。

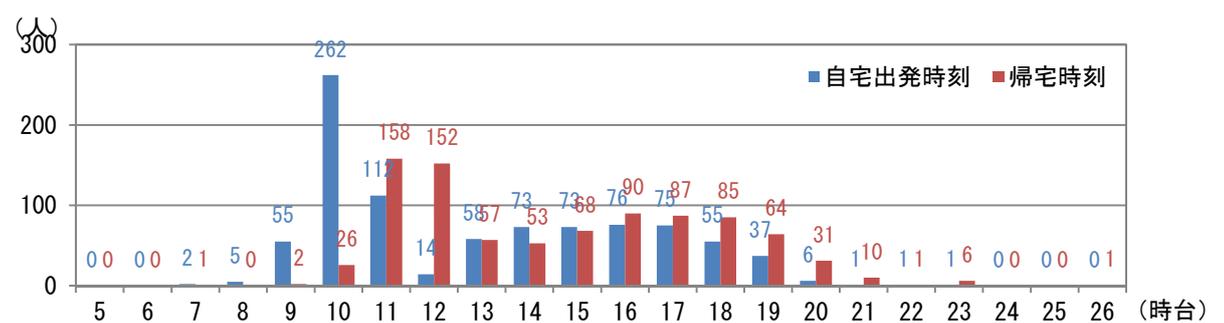
①駅



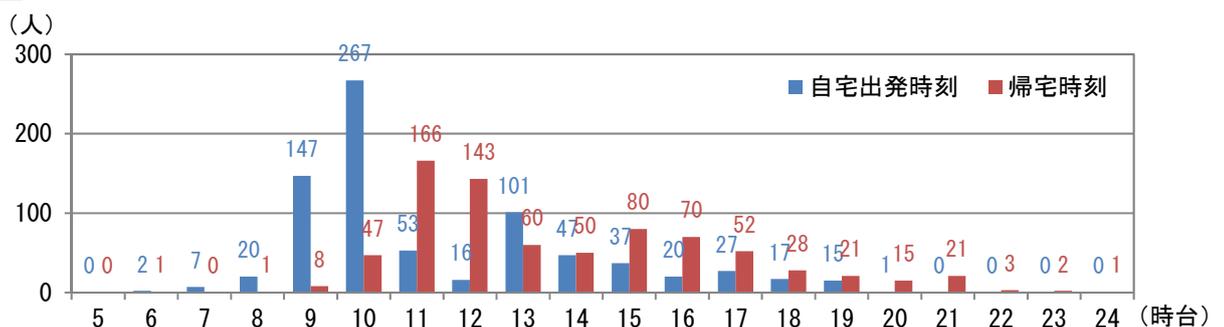
②病院



③買い物



④公的機関



【問1-5】目的別の移動満足度（単一回答）

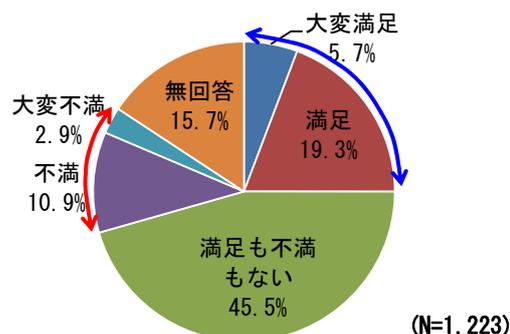
- ・不満（大変不満・不満）が最も高い割合を占める目的は、「駅」で約14%でした。逆に、満足度（大変満足・満足）が高い割合を占める目的は、「買い物」で約38%でした。
- ・高齢者と免許を持っていない人の満足度（次ページ）については、特に免許を持っていない人が全体よりも不満度が若干高くなっていました。

全体

※無回答は、その目的で移動しない人も含む

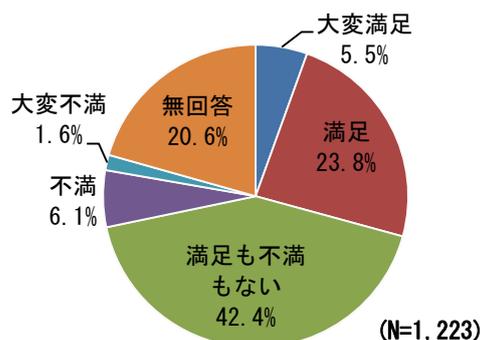
①駅

選択肢	回答数	割合
1 大変満足	70	5.7%
2 満足	236	19.3%
3 満足も不満もない	557	45.5%
4 不満	133	10.9%
5 大変不満	35	2.9%
無回答	192	15.7%
合計	1,223	100.0%



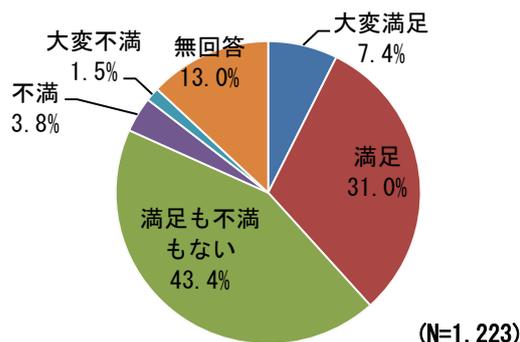
②病院

選択肢	回答数	割合
1 大変満足	67	5.5%
2 満足	291	23.8%
3 満足も不満もない	519	42.4%
4 不満	74	6.1%
5 大変不満	20	1.6%
無回答	252	20.6%
合計	1,223	100.0%



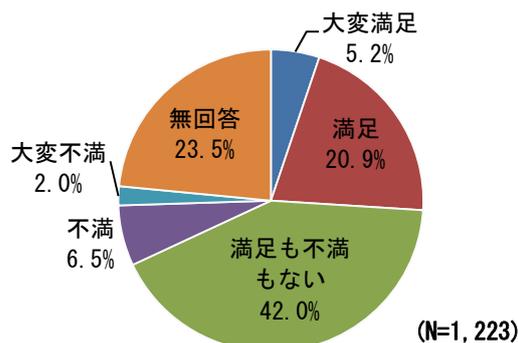
③買い物

選択肢	回答数	割合
1 大変満足	90	7.4%
2 満足	379	31.0%
3 満足も不満もない	531	43.4%
4 不満	46	3.8%
5 大変不満	18	1.5%
無回答	159	13.0%
合計	1,223	100.0%



④公的機関

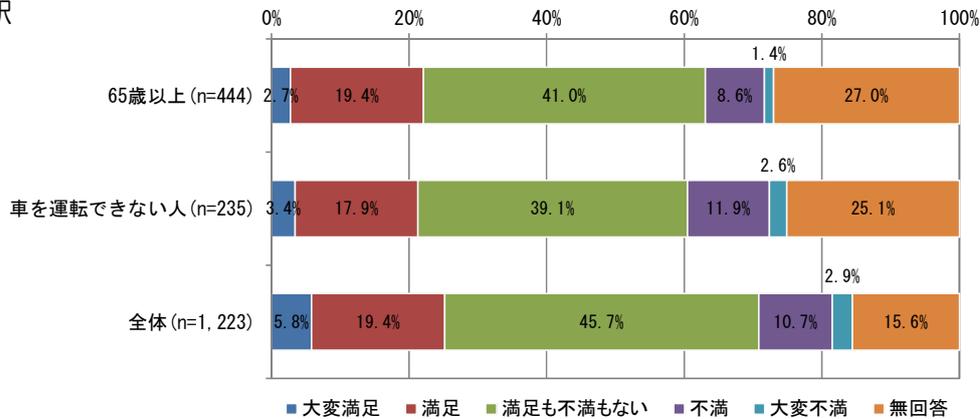
選択肢	回答数	割合
1 大変満足	63	5.2%
2 満足	255	20.9%
3 満足も不満もない	514	42.0%
4 不満	79	6.5%
5 大変不満	25	2.0%
無回答	287	23.5%
合計	1,223	100.0%



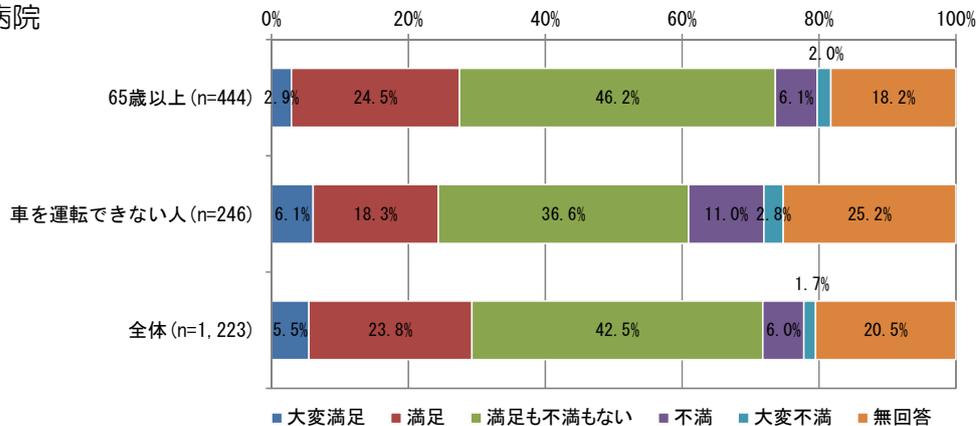
高齢者（65歳以上）・車を運転できない人

※車を運転できない人：問2で「2 運転免許を持ったことがない」もしくは「3 かつて運転免許を持っていたが、返納した」を選択した人

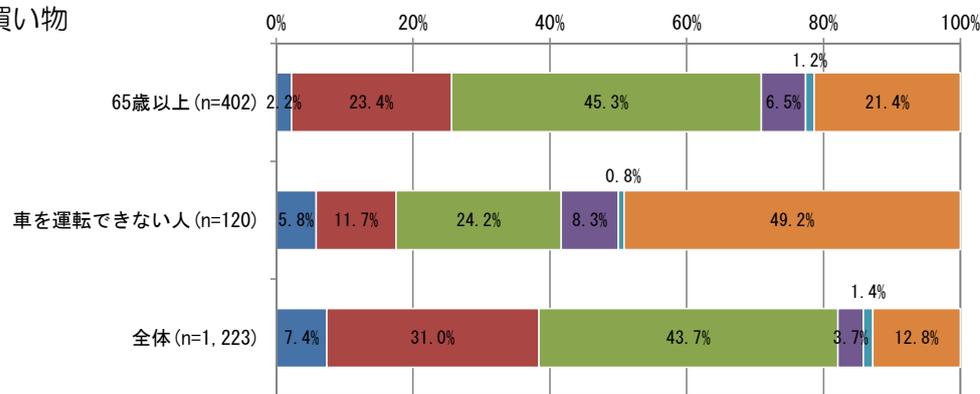
①駅



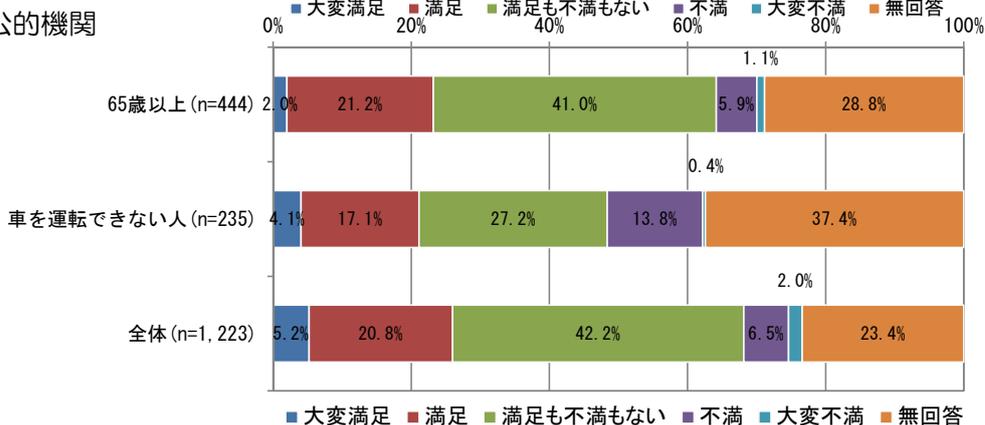
②病院



③買い物



④公的機関



【問1-6】目的別の公共交通等による到達可能性（単一回答）

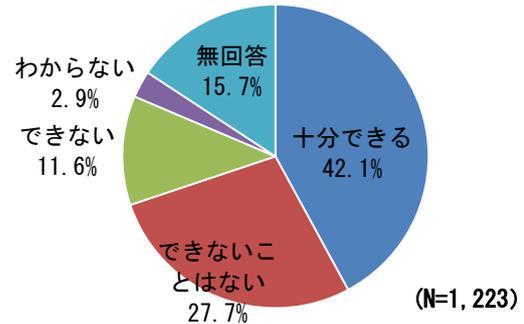
- ・鉄道・バス・徒歩による目的地到達可能性については、主な移動手段で「徒歩」の割合の高い「駅」で、「十分できる」の割合が高く（約42%）なっていました。
- ・移動満足度の高かった「買い物」については、「できない」の割合が高いことから、主に自家用車で移動しており、それに対する満足度は高いと考えられます。

全体

※無回答はその目的で移動しない人を含む

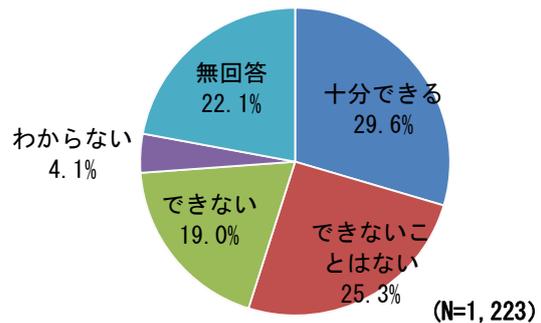
①駅

選択肢	回答数	割合
1 十分できる	515	42.1%
2 できないことはない	339	27.7%
3 できない	142	11.6%
4 わからない	35	2.9%
無回答	192	15.7%
合計	1,223	100.0%



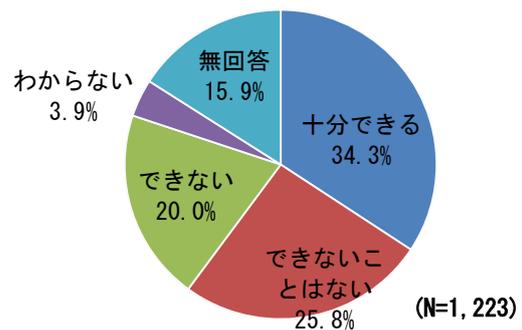
②病院

選択肢	回答数	割合
1 十分できる	362	29.6%
2 できないことはない	309	25.3%
3 できない	232	19.0%
4 わからない	50	4.1%
無回答	270	22.1%
合計	1,223	100.0%



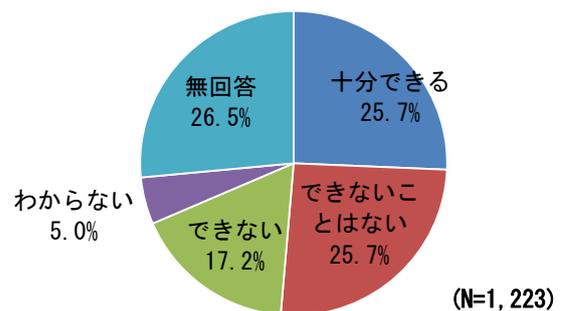
③買い物

選択肢	回答数	割合
1 十分できる	419	34.3%
2 できないことはない	316	25.8%
3 できない	245	20.0%
4 わからない	48	3.9%
無回答	195	15.9%
合計	1,223	100.0%



④公的機関

選択肢	回答数	割合
1 十分できる	314	25.7%
2 できないことはない	314	25.7%
3 できない	210	17.2%
4 わからない	61	5.0%
無回答	324	26.5%
合計	1,223	100.0%

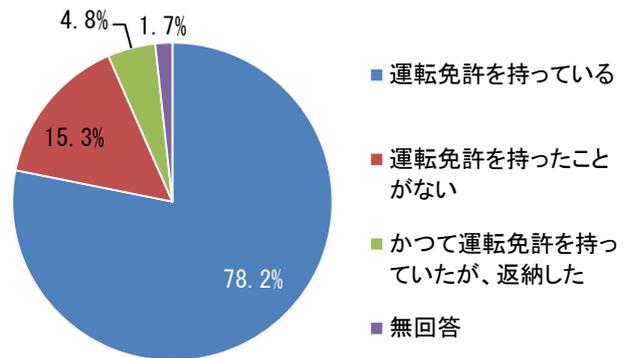


【問2】自動車運転免許（2輪含む）の保有状況（単一回答）

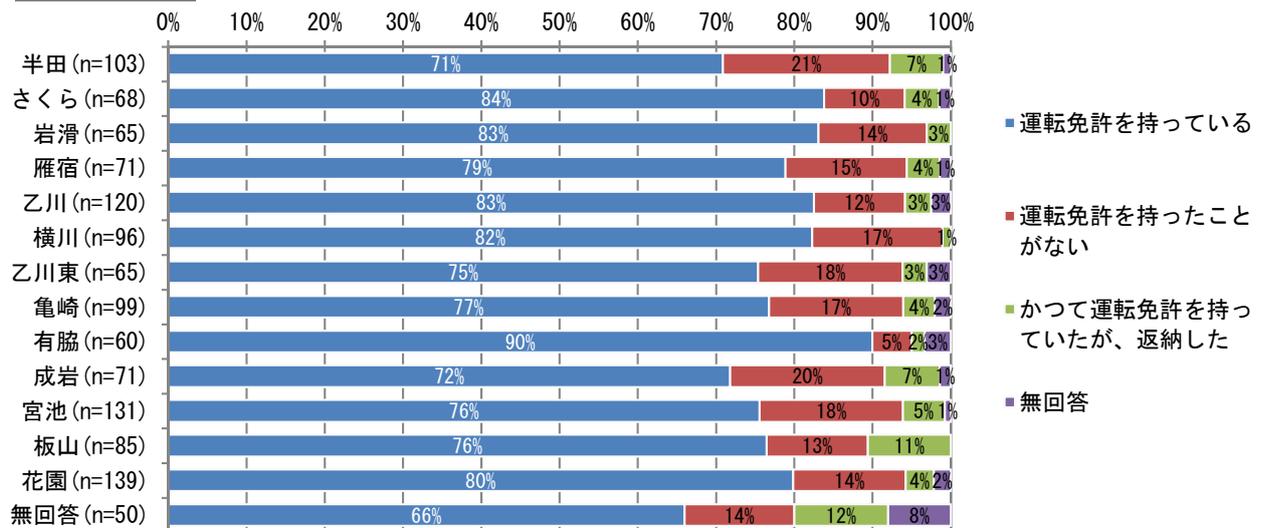
- 全体では、自動車運転免許の保有が約78%と非常に高い状況であり、小学校別でも全体と同様の傾向にあります。（有脇地区の割合が高くなっているが、小中学生の割合が低いためと考えられる）
- 一方、運転免許を保有していない人は約20%存在しました。

全体

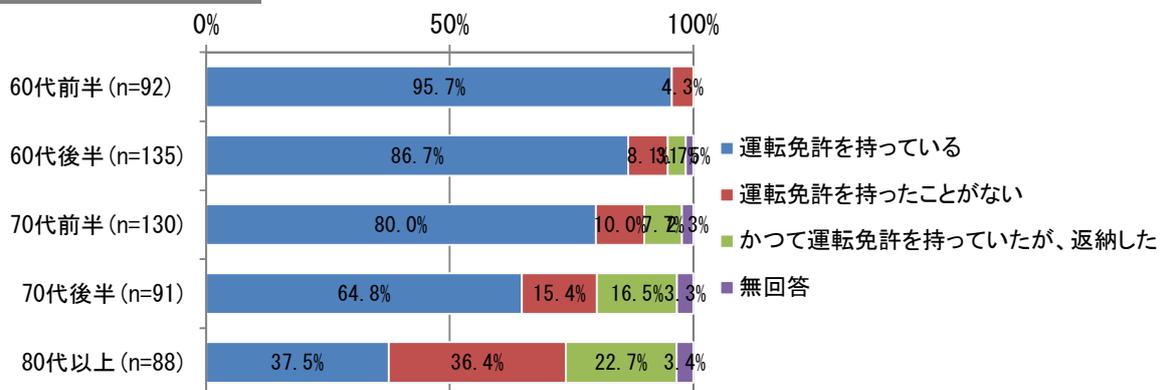
選択肢	回答数	割合
1 運転免許を持っている	956	78.2%
2 運転免許を持ったことがない	187	15.3%
3 かつて運転免許を持っていたが、返納した	59	4.8%
無回答	21	1.7%
合計	1,223	100.0%



小学校区別



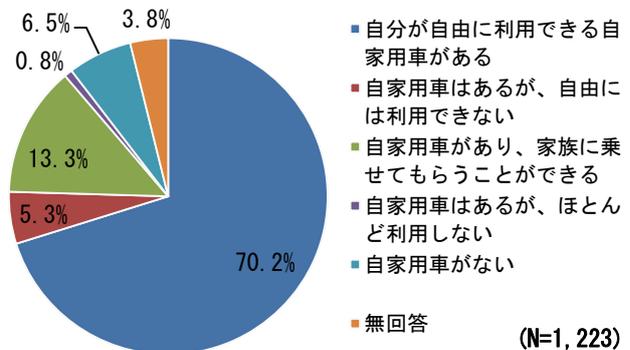
高齢者（65歳以上）



【問3】自家用車の利用可能性（単一回答）

- 回答者の7割以上が「自由に利用できる自家用車」を所有していました。
- 自家用車の利用をやめられる可能性としては、「やめられない」が6割以上を占め、その理由としては「バス・鉄道だけでは目的地に行けない」が最も多く、次いで「荷物が重い」の順でした。

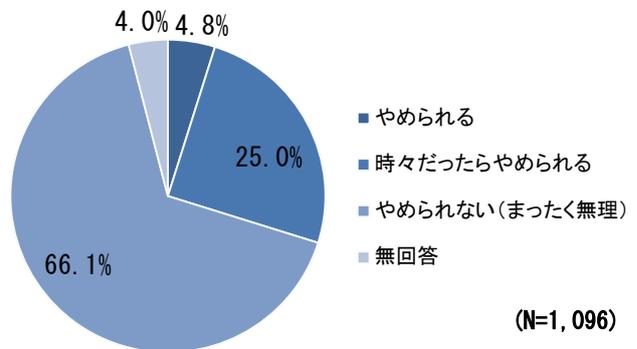
選択肢	回答数	割合
1 自分が自由に利用できる自家用車がある	858	70.2%
2 自家用車はあるが、自由には利用できない	65	5.3%
3 自家用車があり、家族に乘せてもらうことができる（自分は運転しない）	163	13.3%
4 自家用車はあるが、ほとんど利用しない	10	0.8%
5 自家用車がない	80	6.5%
無回答	47	3.8%
合計	1,223	100.0%



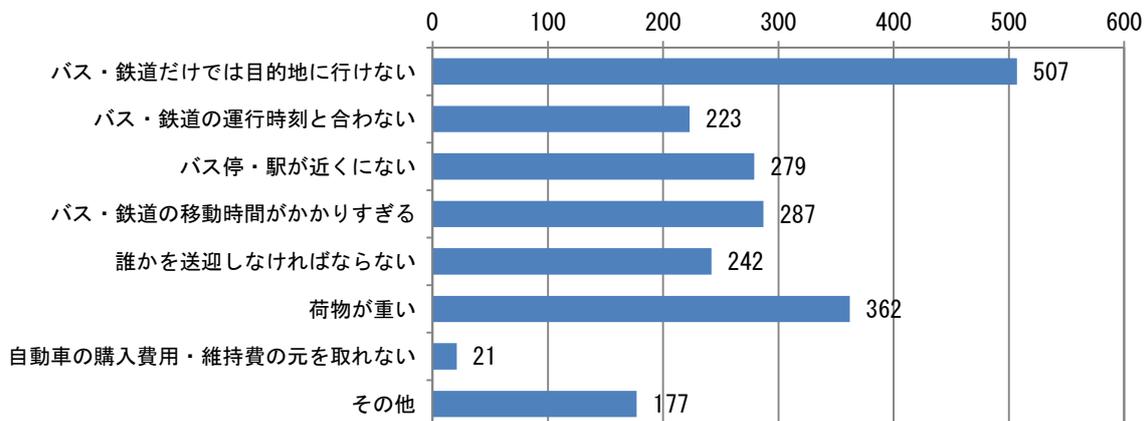
【問4】自家用車の利用状況

【4-1】自家用車の利用をやめられる可能性（問3で「1～4」を選択した方のみ回答、単一回答）

選択肢	回答数	割合
1 やめられる	53	4.8%
2 時々だったらやめられる	274	25.0%
3 やめられない（まったく無理）	725	66.1%
無回答	44	4.0%
合計	1,096	100.0%



【4-2】自家用車の利用をやめることが困難な理由（4-1で「2」か「3」を選択した方のみ回答、複数回答）



(3) 半田市内の公共交通について

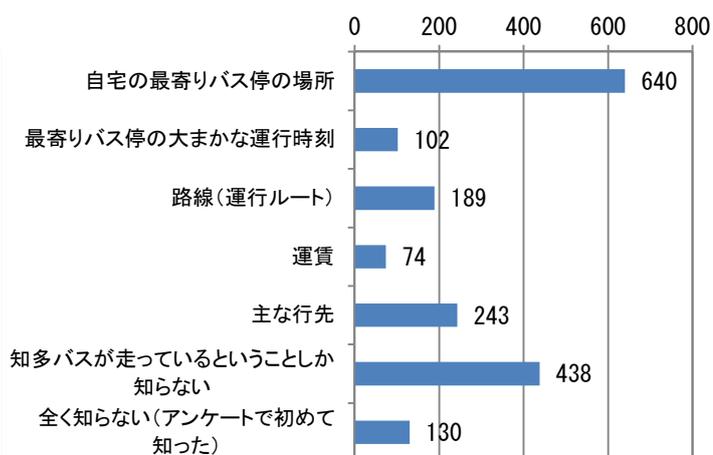
【問5】路線バス（知多バス）について

【5-1】「知多バス」の認知度（複数回答）

- ・知多バスについては、概ね半数の回答者が「自宅の最寄りのバス停の場所」を認知していました。
- ・一方、「知多バスが走っているということしか知らない」が次に多い回答となっていました。

全体

選択肢	回答数
1 自宅の最寄りバス停の場所	640
2 最寄りバス停の大まかな運行時刻	102
3 路線（運行ルート）	189
4 運賃	74
5 主な行先	243
6 知多バスが走っているということしか知らない	438
7 全く知らない（アンケートで初めて知った）	130
合計	1,816

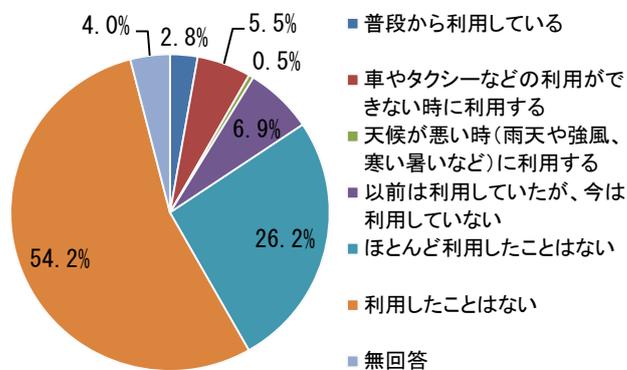


【5-2】「知多バス」の利用状況（単一回答）

- ・全体では、「利用したことがない」と「ほとんど利用したことがない」を合わせると約80%を占め、「普段から利用している」と回答した人は約3%と低い割合でした。
- ・小学校区別では「板山地区」で最も「利用する」と回答した人の割合が高くなっていました。

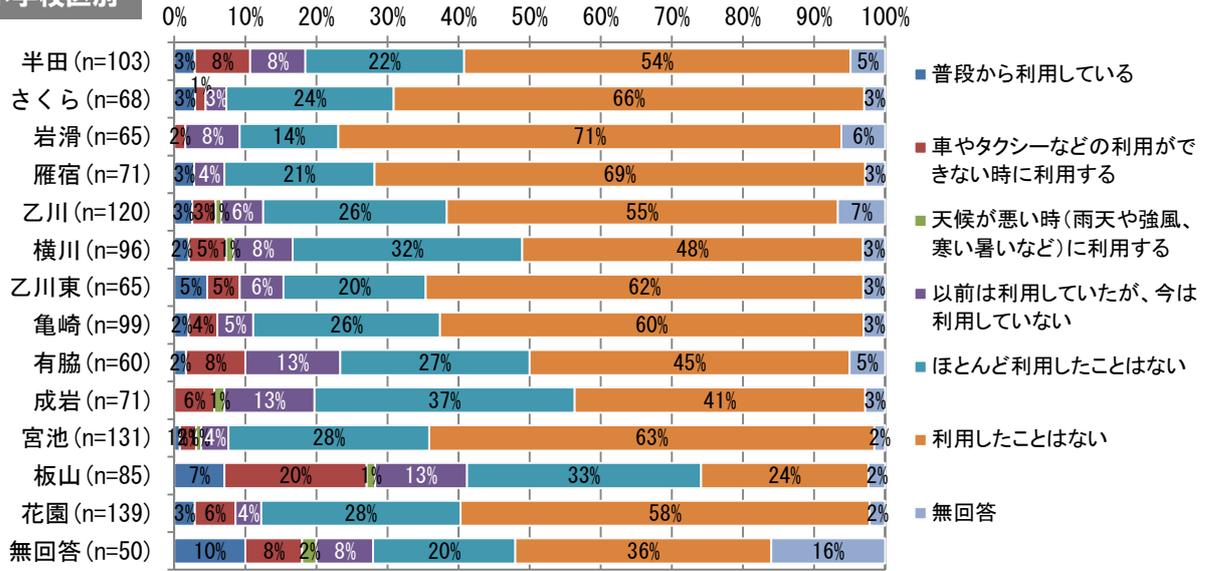
全体

選択肢	回答数	割合
1 普段から利用している	34	2.8%
2 車やタクシーなどの利用ができない時に利用する	67	5.5%
3 天候が悪い時（雨天や強風、寒い暑いなど）に利用する	6	0.5%
4 以前は利用していたが、今は利用していない	84	6.9%
5 ほとんど利用したことはない	320	26.2%
6 利用したことはない	663	54.2%
無回答	49	4.0%
合計	1,223	100.0%



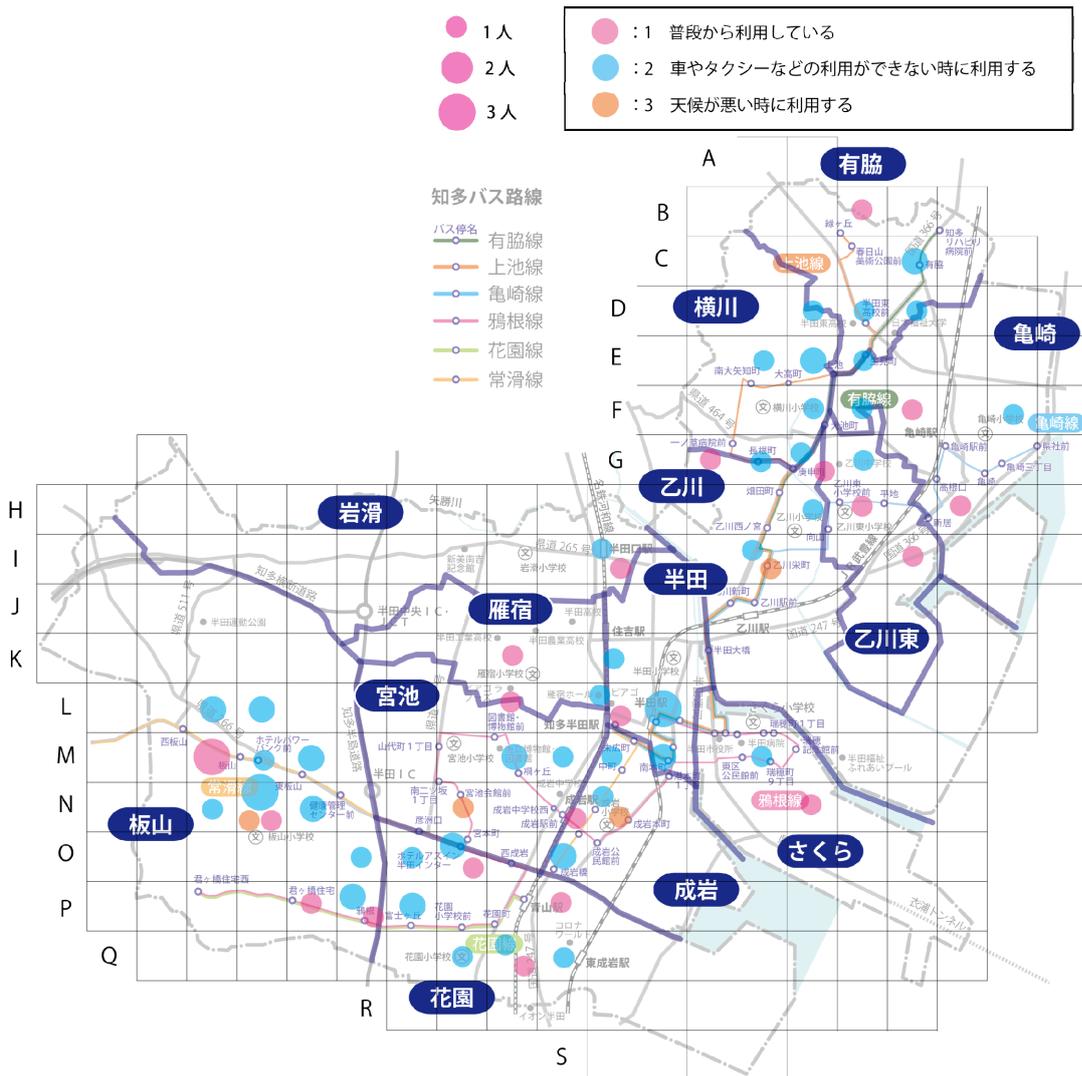
(N=1,223)

小学校区別



居住地別

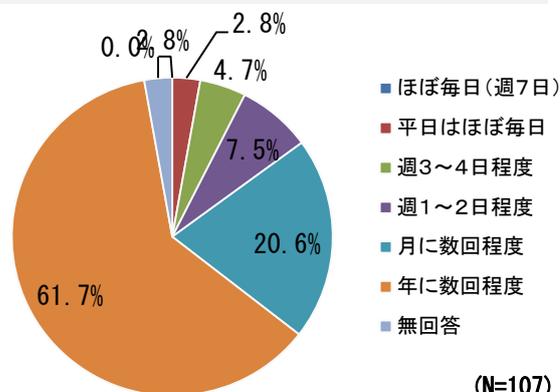
- ・利用状況について、選択肢「1～3」と回答した人の居住地を以下に図示しました。
- ・利用者は常滑線沿線や有脇線沿線に比較的多く分布していました。



【5-3】全目的を合わせた「知多バス」の利用頻度（5-2 で「1～3」と回答した方のみ、単一回答）

- ・知多バスの利用頻度は「年に数回程度」が最も多く6割以上を占めていました。
- ・「普段から利用している」と回答した人のうち、週1、2日以上利用している人は約11%（12人）でした。

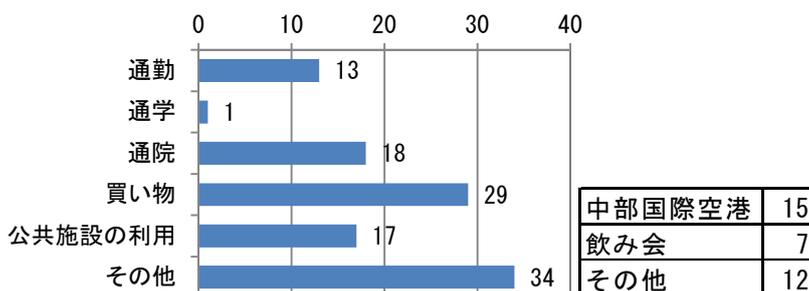
選択肢	回答数	割合
1 ほぼ毎日（週7日）	0	0.0%
2 平日はほぼ毎日	3	2.8%
3 週3～4日程度	5	4.7%
4 週1～2日程度	8	7.5%
5 月に数回程度	22	20.6%
6 年に数回程度	66	61.7%
無回答	3	2.8%
合計	107	100.0%



【5-4-1】「知多バス」の最も多い利用目的（5-2 で「1～3」と回答した方のみ、複数回答を含む）

- ・知多バスの利用目的で最も多いのは「買い物」で、次いで「中部国際空港」となっていました。

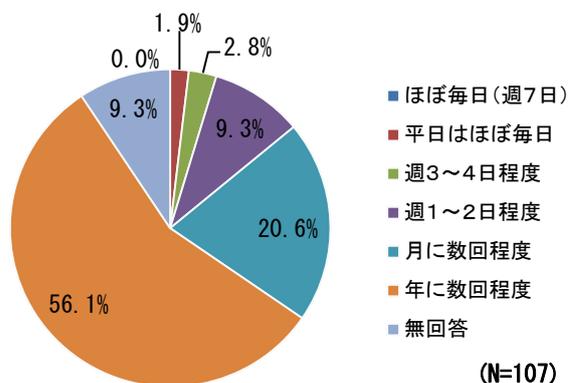
選択肢	回答数
1 通勤	13
2 通学	1
3 通院	18
4 買い物	29
5 公共施設の利用	17
6 その他	34
合計	112



【5-4-2】「知多バス」の最も多い目的の利用頻度（5-2 で「1～3」と回答した方のみ、単一回答）

- ・全目的（問5-3）とほぼ同じ割合であり、各目的で「年に数回程度」の割合が高くなっていました。

選択肢	回答数	割合
1 ほぼ毎日（週7日）	0	0.0%
2 平日はほぼ毎日	2	1.9%
3 週3～4日程度	3	2.8%
4 週1～2日程度	10	9.3%
5 月に数回程度	22	20.6%
6 年に数回程度	60	56.1%
無回答	10	9.3%
合計	107	100.0%

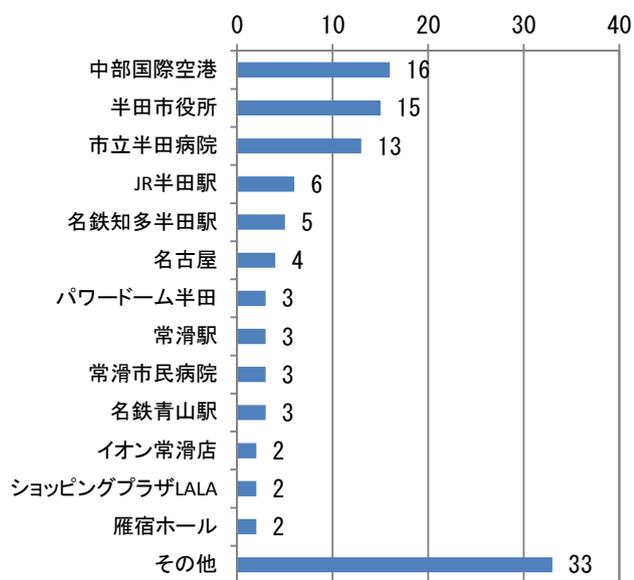


【5-4-3】知多バスの最も多い目的の主な目的地

(5-2 で「1~3」と回答した方のみ、記述式・複数回答)

- 知多バスを利用して行く主な目的地としては、その他を除くと「中部国際空港」が最も多く、次いで「半田市役所」「市立半田病院」の順になっていました。

	回答数
1 中部国際空港	16
2 半田市役所	15
3 市立半田病院	13
4 JR半田駅	6
5 名鉄知多半田駅	5
6 名古屋	4
7 パワードーム半田	3
8 常滑駅	3
9 常滑市民病院	3
10 名鉄青山駅	3
11 イオン常滑店	2
12 ショッピングプラザLALA	2
13 雁宿ホール	2
14 その他	33
合計	110

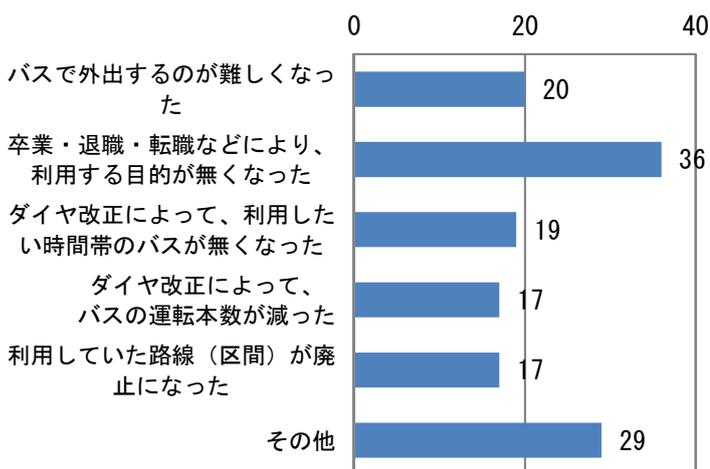


【5-5】知多バスを利用しなくなった理由（5-2で「4」を選択した人のみ回答、複数回答）

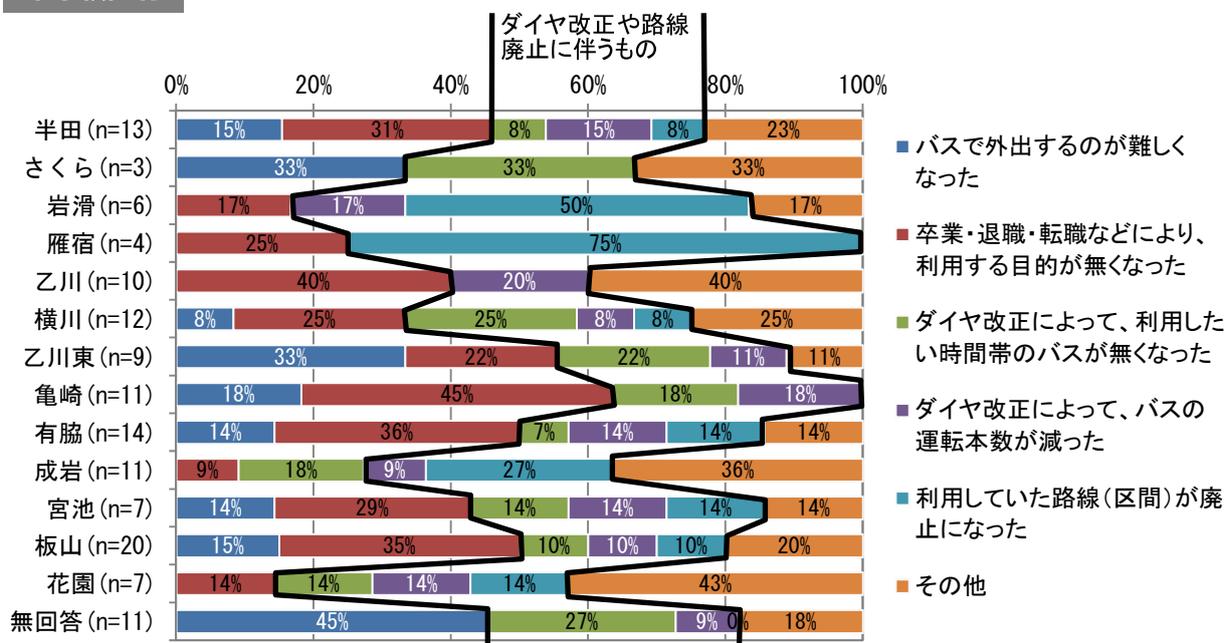
- 全体では、その他を除くと「バスで外出するのが難しくなった」や「卒業・退職・転職などにより利用する目的が無くなった」が多い一方、ダイヤ改正や路線廃止により利用しなくなったとの意見もありました。
- 小学校区別では、路線廃止に伴う理由が特に「岩滑地区」「雁宿地区」で見られました。

全体

選択肢	回答数
1 バスで外出するのが難しくなった	20
2 卒業・退職・転職などにより、利用する目的が無くなった	36
3 ダイヤ改正によって、利用したい時間帯のバスが無くなった	19
4 ダイヤ改正によって、バスの運転本数が減った	17
5 利用していた路線（区間）が廃止になった	17
6 その他	29
合計	138



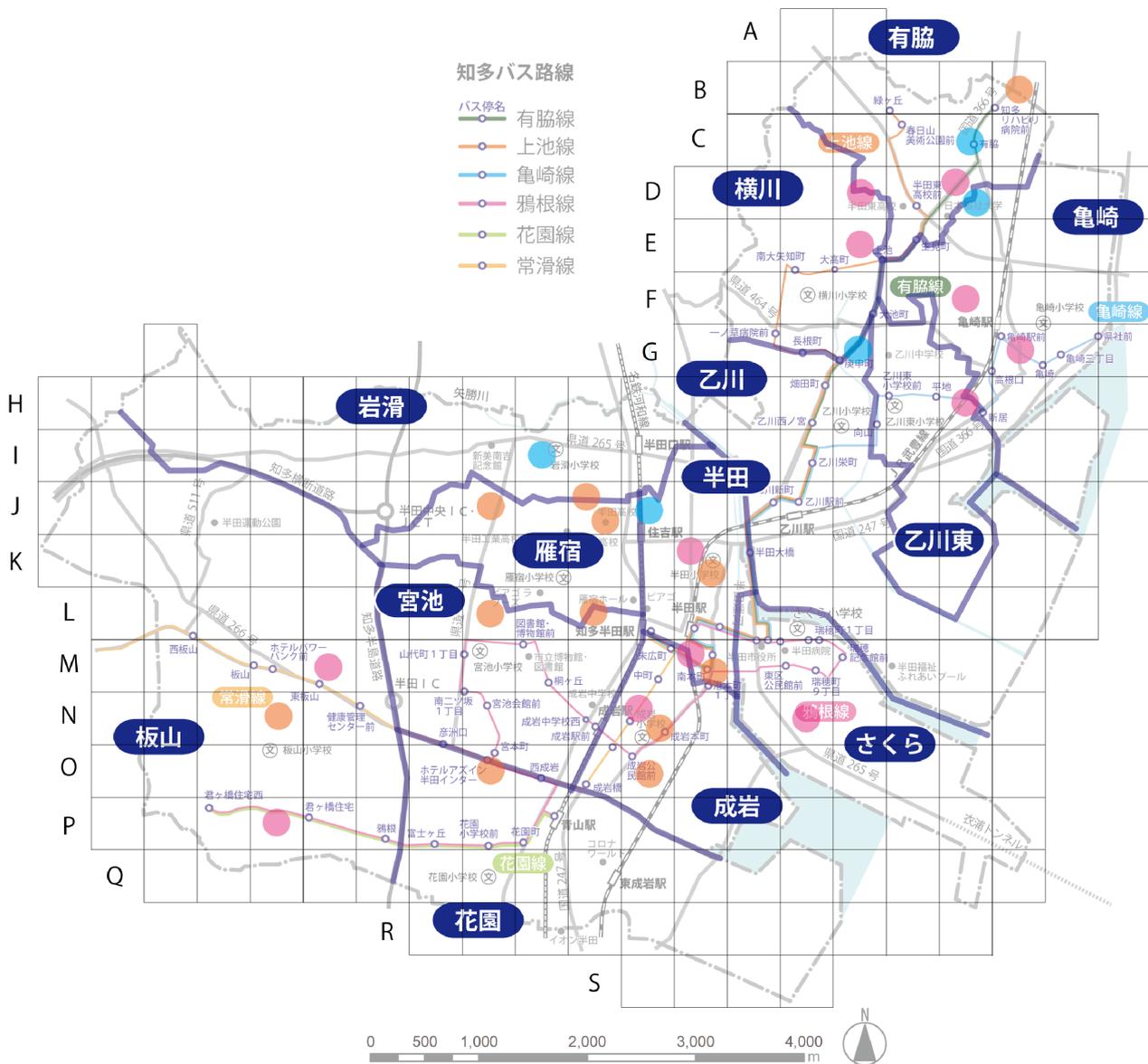
小学校区別



居住地別

- ・利用状況について、知多バスを利用しなくなった理由をダイヤ改正や路線廃止による（選択肢3～5）と回答した人の居住地を以下に図示しました。
- ・「有脇地区」、「岩滑地区」、「板山地区」及び、成岩駅周辺で回答がありました。有脇地区については有脇線の一部廃止、岩滑地区については岩滑線の廃止、板山地区や成岩駅周辺については常滑線の一部国際空港行きが減便になったことによる影響と考えられます。

- : 3 ダイヤ改正によって、利用したい時間帯のバスが無くなった
- : 4 ダイヤ改正によって、バスの運行本数が減った
- : 5 利用して路線（区間）が廃線になった

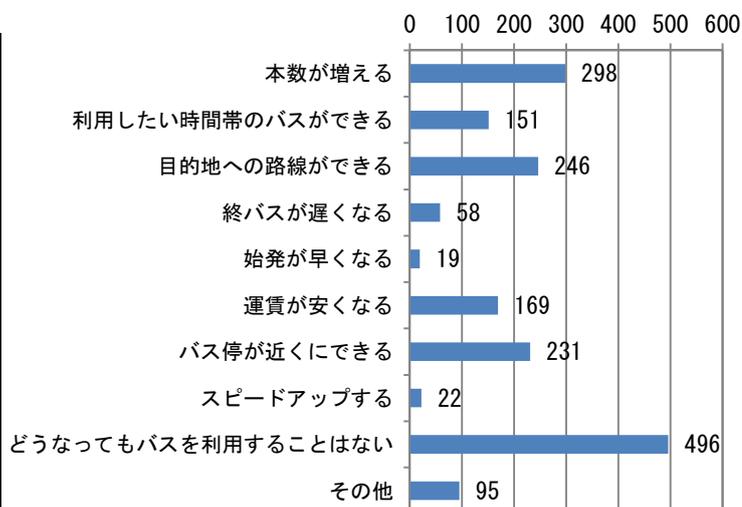


1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21

【5-6】 知多バスを今より利用するための施策（複数回答）

- ・「どうなっても利用することはない」が最も多くなっていましたが、それ以外では「本数が増える」「目的地への路線ができる」「バス停が近くにできる」が多くなっていました。

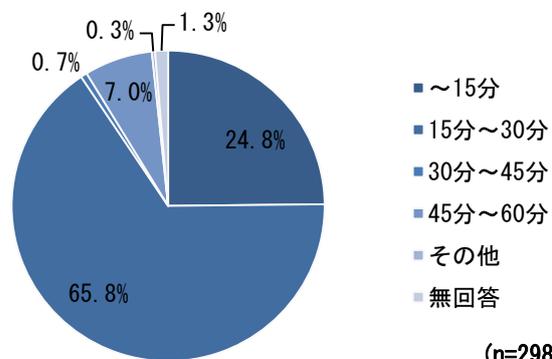
選択肢	回答数
1 本数が増える	298
2 利用したい時間帯のバスができる	151
3 目的地への路線ができる	246
4 終バスが遅くなる	58
5 始発が早くなる	19
6 運賃が安くなる	169
7 バス停が近くにできる	231
8 スピードアップする	22
9 どうなってもバスを利用することはない	496
10 その他	95
合計	1,785



【5-6-1】 本数が増える（5-6で「1」と回答した方のみ（n=298）、記述式）

- ・運行本数は、30分に1本以上を望む意見が9割以上を占めていました。

記述	回答数	割合
～15分	74	24.8%
15分～30分	196	65.8%
30分～45分	2	0.7%
45分～60分	21	7.0%
その他	1	0.3%
無回答	4	1.3%
合計	298	100.0%



【5-6-2】利用したい時間帯にバスができる（5-6で「2」と回答した方のみ（n=151）、記述式・複数回答）

- 行き先の多い順の目的地へ向きたい時間帯を下表に整理しました。
- 目的地としては「名鉄知多半田駅」が最も多く、6時、7時ごろにかけて「勤め人」の意見が比較的多くなっていました。その他の駅（JR亀崎駅、JR半田駅、名鉄青山駅）についても7時ごろに向かうバスが望まれていました。
- 「市立半田病院」については8時ごろに向かうバスが望まれていました。

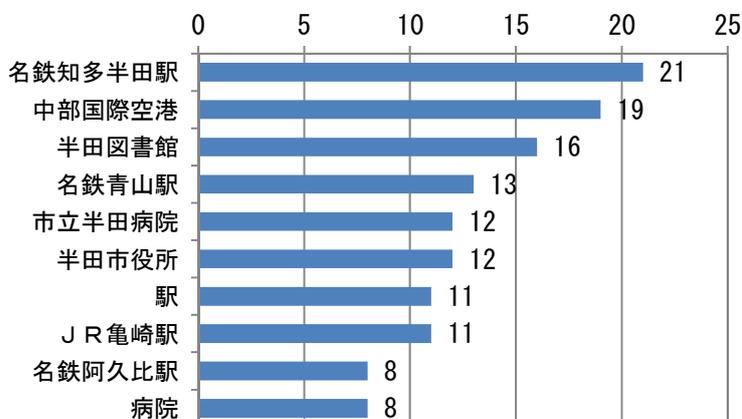
時間	行き先 名鉄知多 半田駅	中部国際 空港	半田 市役所	JR亀崎駅	市立 半田病院	JR半田駅	亀崎方面	名鉄 青山駅
5時台								1
6時台	4	1		3	1		2	
7時台	5	3	3	2		3		2
8時台	3	1	2		3			
9時台	4		1		2	2	1	
10時台	4						1	
11時台	1							
12時台								
13時台			1					
14時台		1						
15時台								
16時台	1							
17時台								
18時台	1		1				1	
19時台								
20時台								
21時台								
22時台								
23時台								1
24時台								
その他※	5	3	1	2		1		1
合計	28	9	9	7	7	6	5	5

※その他：午前中や朝夕、7時～10時など時間帯を特定できないもの

【5-6-3】目的地への路線ができる（5-6で「3」と回答した方のみ（n=246）、記述式・複数回答）

- 行き先としては「名鉄知多半田駅」が最も多く、次いで「中部国際空港」「半田図書館」の順になっていました。

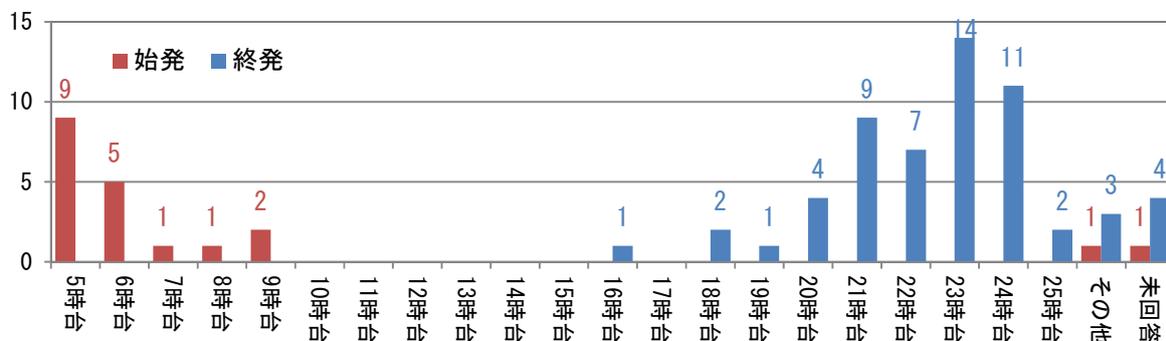
記述	回答数
1 名鉄知多半田駅	21
2 中部国際空港	19
3 半田図書館	16
4 名鉄青山駅	13
5 市立半田病院	12
6 半田市役所	12
7 駅	11
8 JR亀崎駅	11
9 名鉄阿久比駅	8
10 病院	8
11 その他	131
合計	262



【5-6-4】終バスが遅くなる（5-6で「4」と回答した方のみ（n=58）、記述式）

【5-6-5】始発が早くなる（5-6で「5」と回答した方のみ（n=19）、記述式）

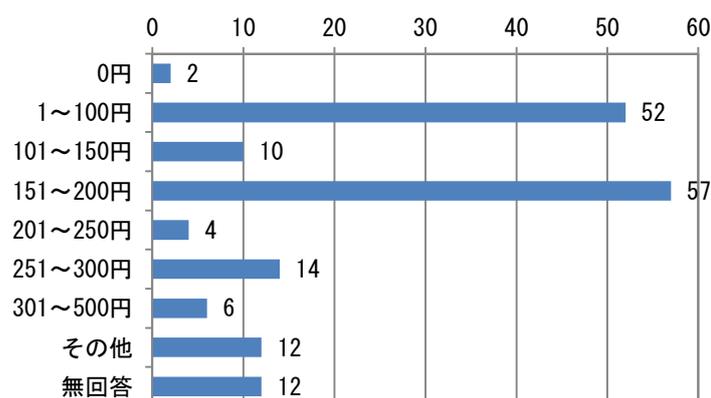
・始発は5時台、終発は23時台に意向が集中していました。



【5-6-6】運賃が安くなる（5-6で「6」と回答した方のみ（n=169）、記述式）

・運賃は「100円以上200円以下」が最も多く、次いで「100円以下」が多くなっていました。

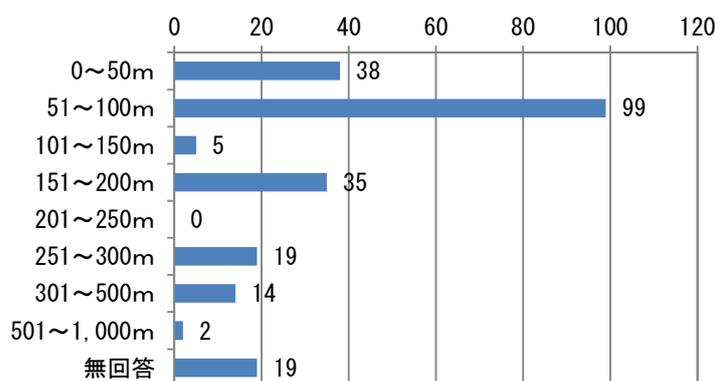
記述	回答数
0円	2
1～100円	52
101～150円	10
151～200円	57
201～250円	4
251～300円	14
301～500円まで	6
その他	12
無回答	12
合計	169



【5-6-7】バス停が近くにできる（5-6で「7」と回答した方のみ（n=231）、記述式）

・自宅からバス停までの距離は「100m以下」が多くなっていました。

記述	回答数
0～50m	38
51～100m	99
101～150m	5
151～200m	35
201～250m	0
251～300m	19
301～500m	14
501～1,000m	2
無回答	19
合計	231

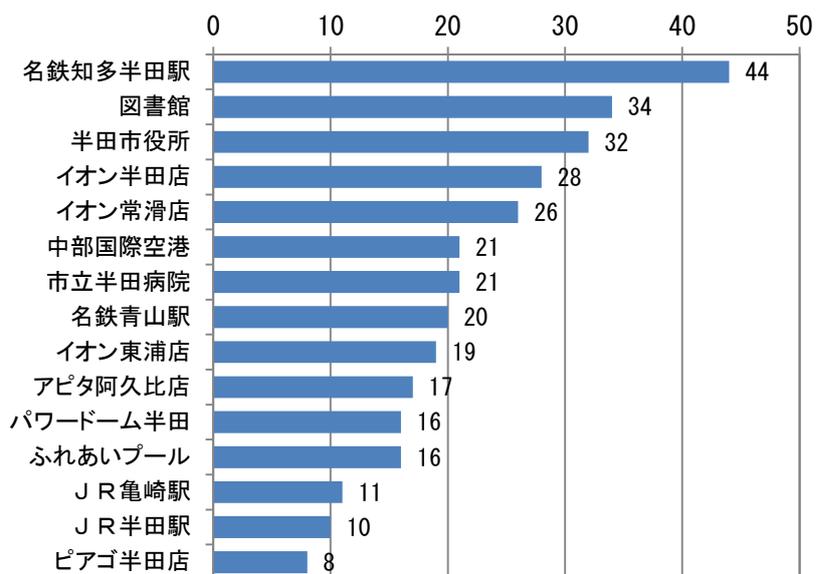


【5-7】 施策が実現した場合の利用目的地と利用頻度（記述式）

- 全体では、「名鉄知多半田駅」が最も多い意見であり、次いで「図書館」「半田市役所」の順となっていました。

目的地

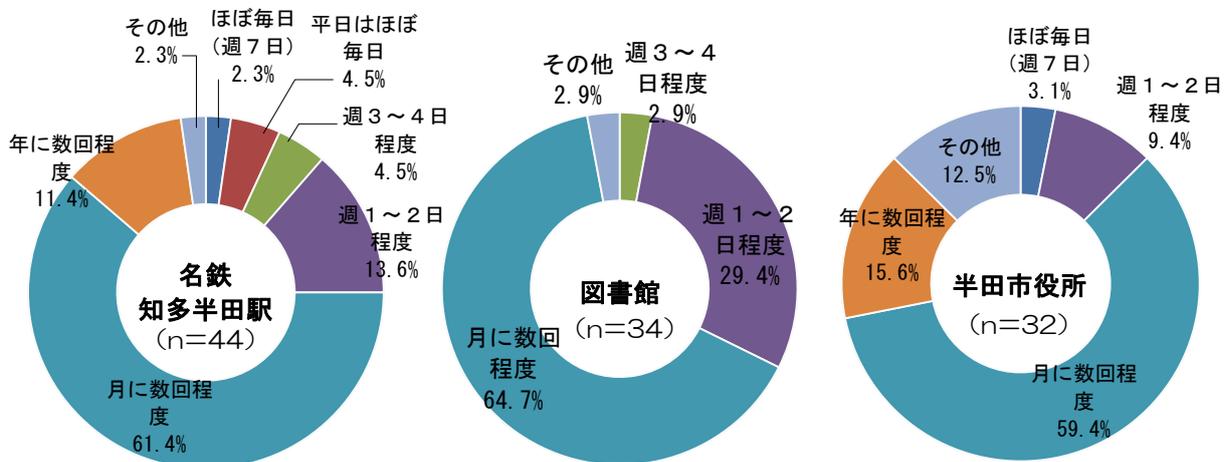
記述	回答数
1 名鉄知多半田駅	44
2 図書館	34
3 半田市役所	32
4 イオン半田店	28
5 イオン常滑店	26
6 中部国際空港	21
7 市立半田病院	21
8 名鉄青山駅	20
9 イオン東浦店	19
10 アピタ阿久比店	17
11 パワードーム半田	16
12 ふれあいプール	16
13 JR亀崎駅	11
14 JR半田駅	10
15 ピアゴ半田店	8
その他	186
合計	509



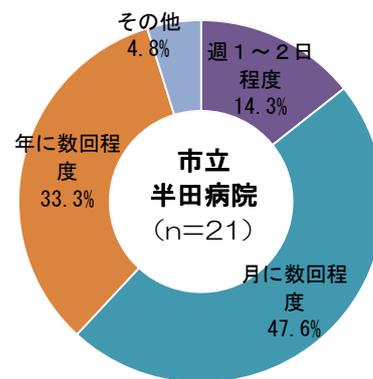
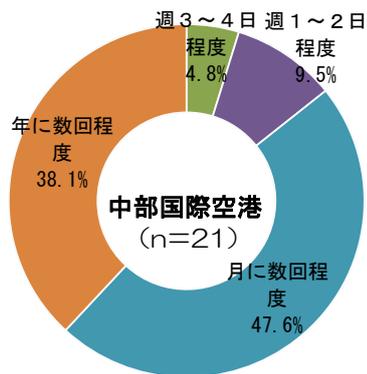
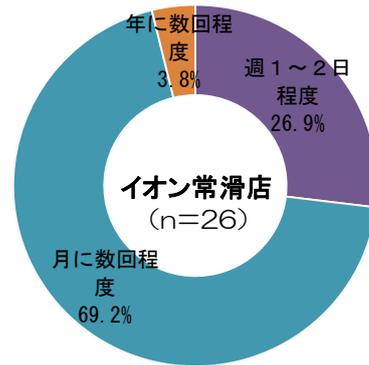
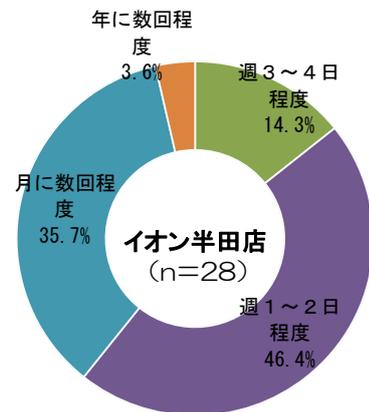
目的地別の利用頻度

- 上記目的地のうち20人以上から回答があったものについて、利用頻度を整理しました。

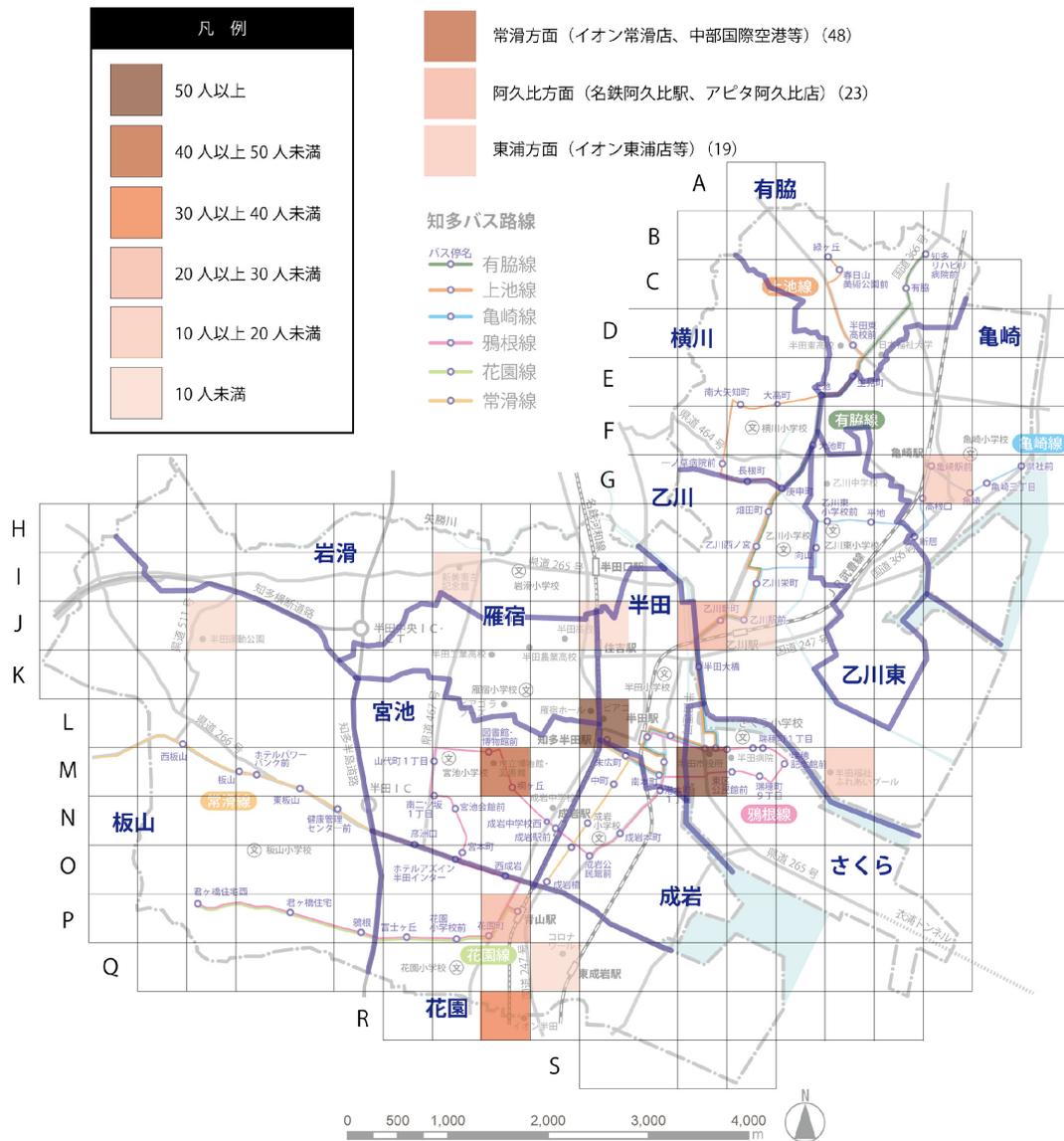
- 1位「名鉄知多半田駅」は、「月に数回程度」の割合が約61%と最も多いですが、「ほぼ毎日」や「平日はほぼ毎日」もおり通勤・通学者による意見と考えられます。
- 2位「図書館」は、「月に数回程度」が最も多く、次いで「週1～2日程度」の順でした。
- 3位「半田市役所」は、「月に数回程度」が約59%と最も多く、次いで「年に数回程度」となっており、2位の図書館より頻度は低いと考えられます。



- 4位「イオン半田店」は、「週に1～2日程度」が約46%で最も多く、「週3～4日程度」と「週1～2日程度」をあわせると6割以上と他に比べ高い頻度となっていました。
- 5位「イオン常滑店」は、同じ商業施設である「イオン半田店」と比べて利用頻度は低くなっていました。
- 6位「中部国際空港」は、「月に数回程度」と「年に数回程度」で8割以上を占めていました。また、7位「市立半田病院」も中部国際空港と同様の割合になっていました。



- ・知多バスで行きたい目的地について、全小学校区の回答の合計で以下に図示しました。
- ・目的地の方面としては、名鉄知多半田駅周辺、半田市役所・市立半田病院周辺、図書館周辺、イオン半田店周辺で回答が多くなっていました。
- ・市外では、常滑方面の回答が多くなっていました。



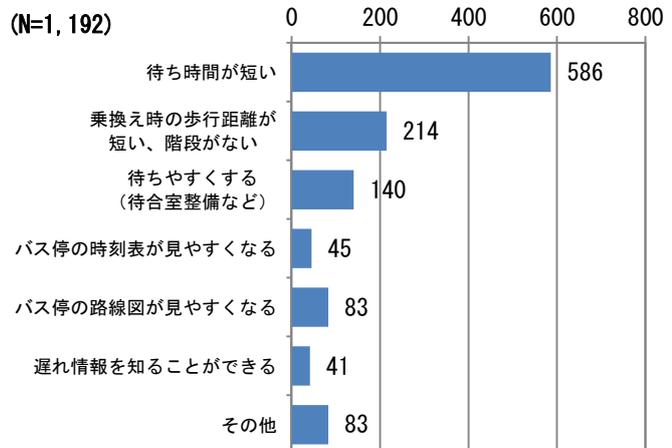
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21

施設名	全体	半田	さくら	岩滑	雁宿	乙川	横川	乙川東	亀崎	有脇	成岩	宮池	板山	花園
L12 名鉄知多半田駅、ピアゴ半田店、クラシティ半田等	72	3	7	2	2	11	5	4	9	4	1	7	5	12
M14 半田市役所、市立半田病院	51	3	2	2	5	6	4	2	5	1	1	8	5	7
— 常滑方面(イオン常滑店、中部国際空港等)	48	6	5	7	4	3	0	1	0	3	0	8	11	0
M10 図書館、博物館、体育館	40	5	2	5	3	3	2	2	5	3	2	2	1	5
R10 イオン半田店	30	6	4	1	2	2	2	0	4	0	2	1	1	5
J14 パワードーム半田、カーマ半田乙川店	25	3	2	2	1	2	3	1	0	2	1	5	1	2
— 阿久比方面(名鉄阿久比駅、アビタ阿久比店)	23	5	2	2	0	4	4	1	3	0	2	0	0	0
P10 名鉄青山駅、フィールCフェスタ	22	1	1	0	0	2	0	1	0	1	0	5	5	6
— 東浦方面(イオン東浦店等)	19	0	0	1	0	2	1	1	3	4	1	2	4	0
M17 半田福祉ふれあいプール	16	2	0	1	2	0	0	0	1	2	3	2	1	2
G19 JR亀崎駅	16	1	2	0	1	3	3	1	1	2	0	0	1	1
J4 半田運動公園	7	1	0	1	0	0	0	1	1	0	1	1	0	1
I9 フィールエクボ半田店、新美南吉記念館	4	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
J15 JR乙川駅	4	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0
Q11 コロナワールド	4	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0
J3 名鉄住吉町駅	3	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0

問6 バスと鉄道の乗り継ぎにおける重要点（複数回答）

- ・乗り継ぎの重要な点は、「待ち時間が短い」が最も多く、次いで「乗換え時の歩行距離が短い、階段がない」の順でした。

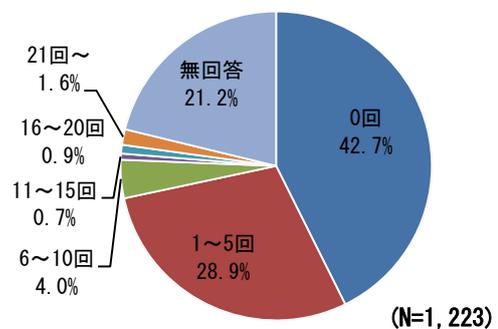
選択肢	回答数
1 待ち時間が短い	586
2 乗換え時の歩行距離が短い、階段がない	214
3 待ちやすくする（待合室整備など）	140
4 バス停の時刻表が見やすくなる	45
5 バス停の路線図が見やすくなる	83
6 遅れ情報を知ることができる	41
7 その他	83
合計	1,192



問7 タクシーの利用頻度と主な乗車場所（記述式）

- ・タクシーの利用頻度は、5割近くが「全く利用しない（0回）」と回答し、次いで年に「1～5回」が約30%を占めました。
- ・タクシーの主な乗車場所としては、「自宅」と「名鉄知多半田駅」が特に多くなっていました。

記述	回答数	割合
0回	522	42.7%
1～5回	354	28.9%
6～10回	49	4.0%
11～15回	8	0.7%
16～20回	11	0.9%
21回～	20	1.6%
無回答	259	21.2%
合計	1,223	100.0%



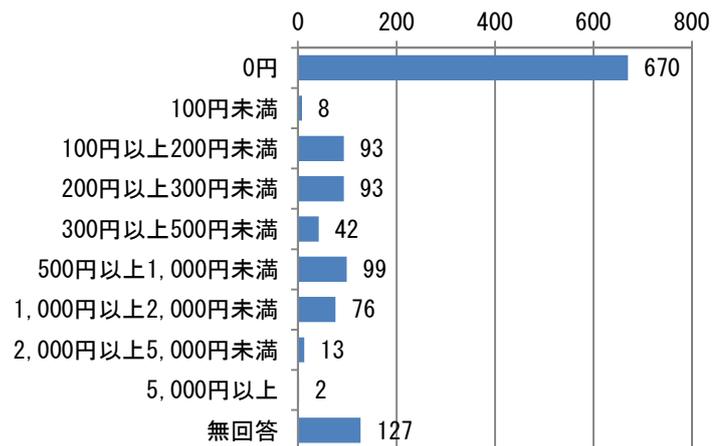
主な乗車場所	回答数
自宅	142
名鉄知多半田駅	106
名鉄青山駅	30
駅	23
飲食店・居酒屋	22
JR亀崎駅	16

問8 最寄り駅と自宅間の移動手段に対する支払意思額（記述式）

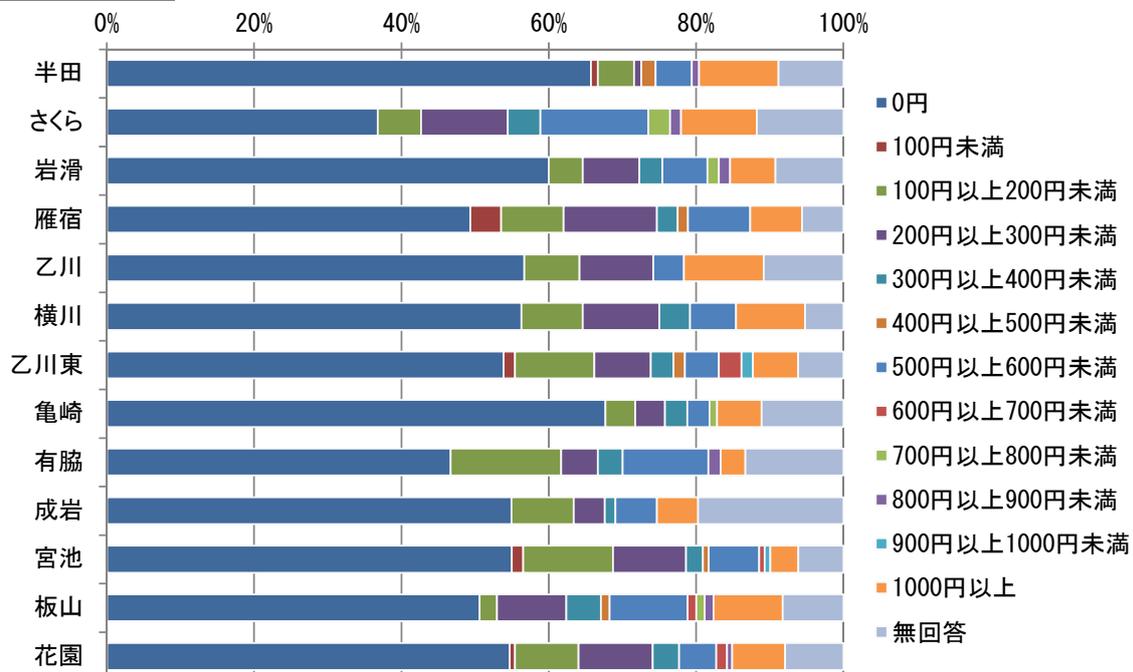
- 最寄り駅と自宅間の移動手段に対して支払ってもよいと思う金額は、「0円」が最も多く、それ以外では200円、300円が各100人程度と比較的多くなっていました。
- 小学校別（次ページ）では、500円以上600円未満の割合が高い地区は、「さくら」「有脇」「板山」、1,000円以上は「半田」「さくら」「乙川」「横川」「板山」となっていました。

全体

記述	回答数
0円	670
100円未満	8
100円以上200円未満	93
200円以上300円未満	93
300円以上500円未満	42
500円以上1,000円未満	99
1,000円以上2,000円未満	76
2,000円以上5,000円未満	13
5,000円以上	2
無回答	127
合計	1,223



小学校区別

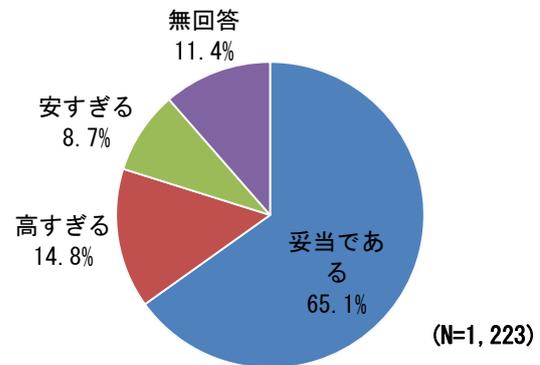


(4) 半田市の交通政策のあり方について

【問9】路線バス（知多バス）の路線維持に対する負担額（1人あたり年間約286円）の妥当性（単一回答）

・路線維持の負担額は、「妥当である」が約65%で最も多く、次いで「高すぎる」の順となりました。

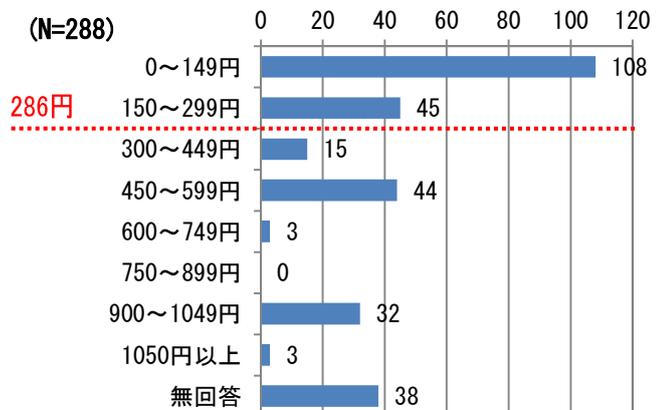
選択肢	回答数	割合
1 妥当である	796	65.1%
2 高すぎる	181	14.8%
3 安すぎる	107	8.7%
無回答	139	11.4%
合計	1,223	100.0%



【問10】路線バス（知多バス）の路線維持のための妥当な負担額（問9で「2」「3」を選択した方のみ回答、記述式）

・妥当な負担額としては、「150円未満」が最も多く、次いで「150円以上300円未満」「450円以上600円未満」の順となっていました。

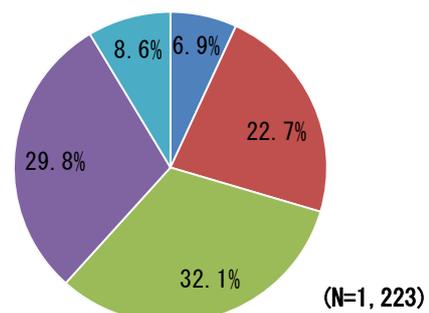
選択肢	回答数
1 0～149円	108
2 150～299円	45
3 300～449円	15
4 450～599円	44
5 600～749円	3
6 750～899円	0
7 900～1049円	32
8 1050円以上	3
無回答	38
合計	288



【問11】市における今後の公共交通への対応のあり方（単一回答）

・今後の公共交通への対応としては、「経費を増額してでも利便性の向上を目指すべきである」や約32%で最も高い割合を占めました。

選択肢	回答数	割合
1 たとえ利用が不便になっても経費を抑制すべきである	84	6.9%
2 現状を維持すべきである	278	22.7%
3 経費を増額してでも利便性の向上を目指すべきである	392	32.1%
4 わからない	364	29.8%
無回答	105	8.6%
合計	1,223	100.0%



【問18】自由意見

- 有効回答数1,223件のうち、365件（約30%）から自由意見がありました。自由意見を類型化して以下に整理しました。（複数カウントあり）
- 最も多い意見は、「市内巡回バスやコミュニティバスの運行・復活」であり、近隣市町と異なり本市にはコミュニティバスが運行していないとの意見が多くなっていました。また、「バスの小型化による運行改善」（6位）も含めると住宅地内へのきめ細かなバスの運行に関する意見が多くなっていました。
- 2位の「運行の改善」は、現行路線バスについて、運行本数が少ない、目的地に行くことができないなどの意見が多くなっていました。

